

三井物産「内地支店長会議々事録」（明治三三年）第二回分

吉川 容・大島久幸

前号に引続き、三井物産「内地支店長会議々事録」（明治三三年）の第二回（第二日目）分を翻刻掲載する。前半（「二回ノ一」）を吉川が、後半（「二回ノ二」）を大島が翻刻したうえで、両名が前後半を通じた原本照合を行った。

凡例

一、原則として漢字は通用の字体を用いたが、固有名詞や慣用句などで原本通りとした場合もある。

一、合字はカタカナに改めた。

一、判読不能の文字は□で示した。

一、「」内は翻刻者による注記である。

一、原本では発言者名を一字ないし二字分上げて記載してい

るが、翻刻では冒頭に「◎」を付加したうえで発言者名をゴチで表記した。

一、表6から表8は原本では本文中の縦書きの表であるが、収録の都合上独立した横書きの表として作成した。表の番号は翻刻に際して付したものである。誌面の都合により原本での当該箇所に近い位置に配置し本文中に原本での位置を注記した。

一、原本の丁の区切りを【】内に示した。原本での丁数は用紙右下（原本は袋綴製本されているのでその状態では左頁のど側下）に漢数字もしくは算用数字で記されており、その数字は会議各回毎（回によってはさらに午前・午後と思われる区分毎）に更新されている。参照の便を考え【】内には回数（午前・午後の区分がある場合は「二」「二」で区分）

と丁数（算用数字）を記しさらに用紙前半（袋綴じでは左頁となる）の場合は「a」後半（袋綴じでは次の右頁）の場合には「b」を付した。

本史料の翻刻を許可くださり諸々ご高配を賜った公益財団法人東洋文庫に感謝申し上げます。また、本史料の所在を翻刻者にご教示くださり翻刻にあたってご助言をいただいた鈴木邦夫氏に記して御礼申し上げます。

〔翻刻原本 公益財団法人東洋文庫所蔵 二「三井物産」内地支店長会議事録〕請求記号六四二)

【二回ノ一 1 a】

第二回 一月十九日

◎益田 本日ハ輸出商売ノ事ヲ協議スヘシ茲ニハ輸出商売ノ増進ヲ謀ル之議テウ議案ト我社ニ於テ從事スベキ輸出商品ノ種類テウ議案ト両様ニ相成リ居ルモ輸入商売ト共ニ大ニ輸出商売ノ擴張増進ヲ計ルヘキ事ハ固ヨリ当然ニシテ何人モ異論ヲ挟マサル所ナルヘケレハ輸出商売ニ付特ニ議スヘキ点ハ如何ナル方法手段ニ依リテ如何ナル商品ノ取扱ヲ為スヘキヤニ在リ故ニ右ニ二個ノ議案ハ同時ニ之ヲ議スルコト、スヘシ

一、輸出商売ノ増進ヲ計ルノ議

年来海外貿易ニ従事シ業務益々隆盛ヲ加フルノ今日顧ミテ近年ノ商売高ヲ調査スルニ輸入商売ト輸出商売ノ比較常ニ輸入ハ大ニ輸出ヲ超ヘ既ニ昨三十二年ノ如キモ輸入ハ四

【二回ノ一 1 b】

千万円ニシテ輸出ハ二千五百万円餘ニ過キス輸入ノ輸出ニ勝ルモノハ其原因多クナリト雖トモ從來社内ノ風習トシテ外国品ノ仕入ヲ重シテ内地品ヲ外国ニ売捌クノ道ヲ講シタル事比較的輕カリシノ感アルモ亦大ニ其原因ナリシカト

思惟セラル然ルニ輸出ノ実ニ最モ力ムヘキハ国家ノ一大義務ニシテ又実ニ当社ノ最モ力ヲ尽スヘキ所ナリト信ス故ニ新タニ輸出部ナルモノヲ設立スルカ又ハ特ニ雜貨輸出掛ヲ設ケテ販売各市場并内地各生産地ノ状況ヲ精査シ一層斯業ノ發達ヲ計ルカ各自ノ意見ヲ諮問ス

一、我社ニ於テ從事スヘキ輸出商品ノ種類

輸出貿易ニ対シ大ニ尽力スヘキハ我社目下急務ナリト信スルヲ以テ各生産地ニ於テ夫々適當ノ施設ヲ為サ、ルベカラス

【二回ノ一 2 a】

而シテ其商品ハ可成丈仕入方ニ危険少ナク大ニ將來發達ノ見込アルモノニシテ売捌ノ見込確カナルモノヲ第一トスベキハ勿論ナリト雖モ我國輸出重要品ノ中当社ノ最モ注意スベキモノト然ラサルモノトノ別アリ故ニ其商品ノ種類ニ付大体ノ区劃ヲ設クルヲ以テ適當ト認ムルモノナリ

輸出商売ニ付テハ今日迄既ニ取扱ヒ来リタル商売ヲ増進スルハ勿論未タ從事シ居ラサルモノニテモ何カ力ヲ入レテ其取扱ニ骨ヲ折ルベキモノナキヤヲ研究スルコトヲ要ス此点ニ付テハ本店ニ於テモ既ニ考ヲ起シ取扱店タルベを表スルコトニ勉メラレタリ而シテ同局抄造手漉紙ニ付キ店ニ対シ意見ヲモ申送リタルモノアリ即チ羽ニ重并絹手巾是ナリ此

二品ノ輸出鷹ハ近来非常ニ増加シ昨年度ニ在リテハ羽二重ニ於テ千五百万円余絹手巾ニ於テ三百万円余ノ輸出ヲ見タリ幸ヒ三井呉服店

【二回ノ一 2b】

ニ於テハ仕入上便利ヲ有シ福井并ニ横浜ニ店舗アリ大ニ羽二重ノ仕入方ニ力ヲ致シ更ニ進ンテ海外ニモ其販路ヲ拡張セントノ意見アリタルモ同シ三井ノ店舗カーケ所ニ二ツ出テ同一様ノ仕事ヲ為スコトハ面白カラス故ニ販売方ハ物産会社カ引受ケ仕入方ハ呉服店之ニ当ルコト、シ共通計算ニテ其取扱ヲ為セハ差支ナシトノ意見ヲ申出シタリ即チ此方法ニ依ルトキハ仕入方ニハ物産会社ハ関係セス呉服店ニ於テ可成安ク之ヲ仕入レマタ売方ニハ呉服店ハ関係セス物産会社ニ於テ可成高ク之ヲ売り其損益ヲ等分スルコト、ナル近來倫敦ノ器械其他ノ買入商売ハ漸次米國ニ移リ為メニ倫敦ノ商売ハ寂寥ヲ感スルニ至レリ此際倫敦ノ為メニ羽二重杯ノ商売ヲ始ムルハ時機ノ熟セルモノト謂フヘシ近頃堀越善重郎氏ハ大ニ此商売ニ勉強シ大陸并英米ニ対シ販路ヲ擴張

【二回ノ一 3a】

セリ昨年ノ販売高ハ百五十万圓余此内米國ニ対スルモノハ

十萬圓英國三十一萬圓仏國四十一萬圓ナリ独逸ヘハ未タ手ヲ付ケサル趣ナリ我社ニ於テハ英米ニ支店ヲ有スルノミナラス獨國漢堡ニモ出張員アリ從テ此商売ヲ經營スルトキハ向來有望ナルヘシト考フ堀越氏ハ資力十分ナラサルガ為メ百五十萬ノ商売ヲ為シ得タルニ止マルモ我社ニ於テ之カ取扱ヲ為スコトキハ巨額ノ商売ヲ取り得ヘシト信セラル、ニ依リ目下倫敦并紐育ノ兩支店ヘ照會中ナリ

尚羽二重商売ノコトニ付テハ福井氏ヨリ呉服店ヘ交渉シタリヤ

◎福井 交渉セリ共通計算ニ関スル約定書ハ追テ草案ヲ調製スル都合ナリ呉服店ニ於テハ仕入并販売双方共物産会社ニ於テ取扱ヒ呉レサルヤトノ談ナリシモ呉服店ニ於テハ生糸ノ製造ニ従事シツ、アリ且反物ノ取扱ヲモ為スコト故羽二重モ仕入

【二回ノ一 3b】

丈ハ呉服店ニ於テ取扱ハル、方然ルヘシト述ヘ置キタリ

◎益田 昨年堀越氏ハ羽二重ノ商売ニ依テ十萬圓程ヲ利シタルモ又一方ニ於テ三四萬圓ハ損失セリ蓋シ生糸ノ騰貴シタルカ為メ羽二重モ之ニ連レテ昂騰シタルニ際シ資力裕カナラサル為メ一方ニ於テ生糸ヲ買付ケ羽二重ノ値違ニ対スルリスクヲ防クノ策ヲ講シ能ハサリシ故ナラン併兔モ角モ六

七万円ノ利益トナリ「数文字判読不能」ニテ是レ一ハ米国ノ景氣宜シカリシニモ原因スト雖トモ亦一ハ羽二重ノ商売ハ生糸ノ商売ヨリハ概シテ安全ナルニ依ラスンハアラス故ニ我社ニ於テモ是非此商売ニ手ヲ下シ度考ナリ  
手漉白紙ハ印刷局ノ製造ニ係リ我社ニ於テハ古クヨリ其売捌ヲ引受ケ居リタリ然ルニ昨年一方ニ於テ需要ノ増加シタルニモ拘ハラス一方ニ於テ印刷局多忙ノ為メ製造意ノ如クナラス到底

【二回ノ一 4 a】

需要ヲ充タス能ハサルヲ以テ静岡県下ニ在ル三個ノ製造場ト關係ヲ付テ其製造ノ拡張ヲ計ラセ一手販売ヲ引受クル考ニテ福井氏モ静岡へ出張シ親シク交渉ヲ試ミタリ是ヨリ其概要ヲ述ヘラルヘシ

◎福井 三十二年度ニ於テ物産会社ノ輸出シタル紙ハ十六万円余ニシテ之ハ何レモ手漉白紙ナリ此外ニ日本ヨリ輸出セラル、紙ノ内ニテ最モ需要アルハ雁皮紙ニシテ其額凡六十万円余アリ又支那ニ輸出セラル、広形紙二三十万円余アリ此他手巾、竹紙、機械漉紙唐紙模造紙等ノ輸出ヲ合スレハ総計百五十万円位ノ輸出アルヘシ当社ニ於テハ以前広形紙ヲ輸出シタルコトアルモ当今ハ単ニ印刷局ノ手漉白紙ヲ輸出スルノミ然ルニ印刷局ニ於テハ更ニ其製造高ヲ拡張セ

サルノミナラス却テ年々減少ノ一方ナレハ

【二回ノ一 4 b】

我社ノ取扱高モ從テ減少シ本年度ノ如キハ一月ヨリ三月ニ至ル迄ハ一連ノ抄造モ為スコト能ハストノ予告アリタル位ニテ更ニ引当トハナリ難シ乍去印刷局ノ手漉紙ハ世界中何レノ処ニテモ製造出来サル紙ナルニヨリ引続キ此商売ヲ取扱ヒ我國ノ製造品ヲ世界ニ紹介致度考案ニテ寺島君時代ヨリ大ニ意ヲ此点ニ致シ静岡県ノ製紙家ト關係ヲ付クルコトヲ勉メタリ目下静岡県ニハ三ヶ製造場アリ抄紙社并元村松製紙場ヲ抄紙社ニ於テ買取り高瀬製紙場ノ名目ノ下ニ營業セルモノ及ヒ太田源右衛門ノ抄紙場是ナリ此他福井ニモ製紙家アリト雖トモ交セ物ヲ為スニ依リ紙質良好ナラス僅ニ内地向ニ適當スルノミスノ如ク我國ニ於テ手漉紙ヲ抄造スルハ印刷局ト静岡ノ三製紙場ノミニシテ印刷局ハ既ニ其製品ノ一手販売ヲ物産会社ニ托シ静岡ノ三製紙場モ亦内外共

【二回ノ一 5 a】

総テ其売捌ヲ委託シ度旨申出アリ斯ル有様ナルヲ以テ紙ノ商売ハ向後浮沈ヲ来タサ、ル様永久相当ノ高ヲ売捌度考ナリ  
手漉紙ノ商売ヲ一手ニ掌握スルコトハ昨年ノ夏以來計畫セ

ル所ニシテ其趣詳細倫敦支店へモ申送り又當時紐育支を表  
するコトニ勉めラレタリ而して同局抄造手漉紙ニ付店長岩  
原謙三氏在京中ナリシヲ以テ此事ヲ相談セリ而シテ紐育ニ  
於テハ支店長ノ帰任ト共ニ大ニ売方ニ尽力セラレタルモノ  
ト見ヘ静岡ノ手漉紙毎月二百連宛ヲ創出スヘキ旨ノ書状ヲ  
得タリ然ルニ反之倫敦ニ於テハ久シク印刷局紙ヲ売込ミタ  
ル故ニヤ静岡製紙ハ代理店ニ於テ其取扱ヲ好マサル旨ニテ  
更ニ引合ヲ為ス能ハス然レトモ一方ニ於テ印刷局紙ノ抄造  
ハ益々減少シ且他方ニ於テ静岡ノ抄紙者ハ当社ニ言ッテ販  
売ヲ托セントスルノ折柄ナレハ倫敦支店ニ於テハ大ニ力ヲ  
奮ヒ下受人ノ意思ヲ翻カラシムルト共ニ大ニ静岡製紙ノ売  
捌ニ

【二回ノ一 5b】

努力セラレンコトヲ切望セサルヲ得ス  
名古屋へ赴キタルトキ寺島氏ノ紹介ニテ岐阜ノ製紙家竹井  
助右衛門氏ニ面会セリ同氏ハ製紙業ニ熱心ナル人ニテ岐阜  
ニ於テ輸出用ノ雁皮紙カ四十万円程モ製出セラレ且土佐ニ  
モ同様コツピー紙ノ抄出セラル、アリ何レモ輸出ヲ待チ  
ツ、アルモ未タ満足ノ結果ヲ得ス故ニ三井等ニ於テ之カ助  
長ヲ計図セラレタシトノ談話アリ之ニ付テハ寺島氏ヨリ篤  
ト竹井氏ニ相談ノ上本店へ申立ツルコトトセリ要之輸出紙

ノ商売ニ付テハ若シ我社ニ於テ力ヲ奮ヘハ全商売ヲ掌理ニ  
歸スルコト敢テ難事ニアラス故ニ此商売ハ金高必スシモ大  
ナリト云フヲ得サルモ当社ニ於テ力ヲ尽スヘキモノ、一ニ  
敷ヘ置キ尚各店ニ於テ是迄ハ輸出セサリシモ其改良ヲ計ラ  
セ若クハ助長ヲ図ルトキハ輸出ノ見込アリト考ヘラル、モ  
ノアレハ互ニ申出テ行ク々々一大貿易品ト致シタシ

【二回ノ一 6a】

◎寺島 竹井助右衛門氏ハ熱心ナ家ナリ一兩度面会シタルニ  
輸出紙ノ現状ヲ述ヘ今日ノ儘ニ打過ストキハ余ノ其販路ヲ  
途絶スルニ至ルヘキヲ通論セリ蓋シ今日輸出紙ノ商売ハ外  
国人ト直接ニ取引スルニアラスニ三中間ニ立ツ者ノ手ヲ経  
テ外国商館等ニ売込ムモノニシテ米國貿易商會ノ如キハ大  
ニコノ商売ニ力ヲ致セリ然ルニ中間ニ立ツ取次人ハ兎角姦  
策ヲ弄シ少シク紙ノ需要起ルトキハ直チニ値段ヲ引上クル  
ノミナラス往々ニシテ紙質ヲ落シ為ニ其声誉ヲ損スルコト  
アリ而シテ一度声誉ヲ損スルトキハ更ニ新規ノ紙ヲ造リ其  
紙カ声誉ヲ得テ売行増加シ需要盛ニ起ラントスルトキハ  
又々紙質ヲ落スト云フカ如キ有様ニテ到底本商売ノ擴張ハ  
企図シ得ヘカラス就テハ向後物産会社ニ売捌方ヲ依頼シ充  
分販路ノ擴張ヲ計リ貫ヒ度左スレハ仮令値段高キモ品質良  
好ナル点ニ於テ大ニ需要ヲ喚起スヘク然ラ

【二回ノ一 6b】

スンハ依然二三者ノ手ヲ経テ外国人ニ売渡シ居リテハ遂ニ日本紙ノ輸出ヲ途絶スルニ至ルヤ未タ知ルヘカラス云々ノ談話アリタリ余モ1月中閑ヲ得ハ岐阜并静岡ニ赴キ紙ノ事ニ付当業者ト熟議ヲ擬ラスヘキ考ナリ

又雁皮紙ハ蓄電機ニ入用アリ即チ「カナガヒ」ト称ユルモノト雁皮紙トヲ合セ厚キ物ヲ造リテ電池ニ入ル、モノ、由ニテ通信本省ノミニテモ一ヶ月十枚位ヲ使用スト云フ値段ハ九十五円乃至百二十五円見当ナリ蓋シ如此モノニ雁皮ノ入用アリトセハ外国ニ於テモ必スヤ大ニ其需要ノ惹起スヘク從テ輸出額ヲ増加スルニ至ルヘシト考フ

◎益田 紙ハ土佐ノ名物ニテ又支那広形紙ハ石川県中国辺ニテ産出ス之ハ大阪支店ニテ引合フコトトスヘキヤ將タ又参事等ニ於テ紙ノ内輸出ニ適當ナルモノヲ取調ヘ土佐其他各地ノ製造場ヲ

巡回シテ調査スルコトニ為スヘキヤ

【二回ノ一 7a】

◎寺島 調査スル方可ナラン紙ノ行キ先キ取扱方ヲモ調査スルトキハ大ニ本商売ニ関スル道筋ヲ知悉スルコトヲ得テ便宜ナルヘシ

◎飯田 紙ハ多ク取扱ヒタルコトナキ故詳細ノ事ハ分ラサル

モ現今一番見込アルモノハ雁皮紙ノ輸出ナリト考フ而シテ其産出地ハ岐阜県并土佐等重モナルモノナレハ参事等ノ内ヨリ人ヲ派出シ充分取調ヘ貰ヒタシ以前大阪ニテ広形并雁皮等ヲ上海香港并新嘉坡等へ輸出シタルコトアリシモ之ハ純然ノ委托販売ナリシ故充分ノ働キヲ為スコト能ハサリシ先頃紐育ヨリ見本ノ送付方ヲ申越シタル故少々見本トシテ買取り送付シ置キタリ倫敦ニ於テモ雁皮紙ノ売行ハ必ス之レアルヘケレハ此商売ニハ是非共力ヲ尽シタシ

◎小田柿 岐阜ノ紙ヲ見タルカ大ニ売込ノ見込アリ桑港へ帰任後ハ此商売

【二回ノ一 7b】

ニモ努ムル積ナリ引合ハ名古屋へスルヘキカ將タ大阪へスヘキカ

◎寺島 紙ノ商売ハ東京へ集ムル方可ナラン

◎益田 桑港ヨリノ引合ハ東京ニテモ大阪ニテモ可ナリ

◎寺島 引合ハ名古屋へスルモ東京ニテ此商売ヲ統一スル方可ナラン

◎小田柿 桑港へ送り出スニハ神戸ヨリスル方都合宜シ

◎益田 岐阜ノ紙ヲ桑港ヨリ東京へ引合ヒ横浜ヨリ輸出スルト將タ又大阪へ引合ヒ神戸ヨリ輸出スルト運賃何レカ割安

ナルヤ

◎福井 運賃ハ同一ナリ

◎遠藤 故ニ神戸積ミノ方便利ナリ

◎小田柿 麦粉ノ袋ヲ紙ニテ造ルコトヲ寺島氏ニ相談セリ若シ之カ出来ルトセハ大ニ売行ノ見込アリ兎モ角モ桑港ヘ帰任スル迄ハ見本十枚程ヲ造リ貰フコトセリ

【二回ノ一 8 a】

◎寺島 此外セメントライル、袋モ考案中ナリ

◎益田 一時米ヲ入レル袋ヲ紙ニテ造ル計画モアリタリト覚ユ

◎上田 紙ノ話ニ付テ御参考迄ニ述フルカ余ノ旧知己ニ福井人アリ二十年以前米国フィラデルフィヤニ赴キ学校ニ入りテ理学士トナリ帰朝後学校教師トナリ居リタルカ頃日突然訪問シ来リ曰ク從來三樞、楮ヲ以テ製造スル日本紙ハ藁又ハ襪褌ヲ以テ製造スル紙ト異ナリ何レモ之ヲ手漉トセリ從テ其値段モ割高ナリシカ此度己レノ友人ナル製紙家ト計リ日本紙ヲ抄造スル機械ヲ發明セリ其製造力ハ一分時間百八十尺ヲ過ク尤モ原動力ニ汽機ヲ用ユルコトヲ得ヘク又乾燥機械ハ外国製ヲ利用シ得ヘシ畢竟己レハ流動体ヨリ紙ニ抄キ出ス迄ノ機械ヲ發明シタルナリ云々依テ機械ヲ製造シテ販売スル積リナルヤ將タ自ら製紙場ヲ起シテ其器機ヲ応用

スル考ナリヤ問ヒタルニ目下右

【二回ノ一 8 b】

器機ヲ發明シタルノミニテ僅ニ一台ノミヲ造リ試験中ナルモ追テ器機ヲ増加シテ製紙場ヲ起ス考案ナリト答ヘタリ依テ半紙ヲ造ルトセハ如何又手漉紙同等品ヲ造ルトセハ如何ナル勘定トナルヤ杯予算書ヲ作り經濟ノ立テ方等詳シ承リタシト申入置キタリ果シテ有益ノ器機ナルヤ將タ又玩弄物的ノモノニ止ルヤ判明ナラサルモ鳥渡聞キ取りタル儘ヲ述ヘテ参考ニ供ス

尚茲ニ御参考迄ニ印刷局ト当社トノ關係ヲ略叙センニ印刷局紙ノ売捌ニ付テハ明治十三年ノ頃ヨリ大ニ尽力シタル所ニテ爾來単ニ売捌ノ点ノミナラス原料タル三樞ノ培養ニ付テモ夫々力ヲ致ス所アリ之カ為メ少ナカラサル資金ヲモ注入シテ其培養ヲ奨励シ其結果印刷局ニ於テハ今日自由ニ原料ノ買入ヲ為シ得ルコト、ナリタリ印刷局ニ於テハ此事情ヲ認メ居ラル、為メ從來当社ニ對シテハ充分ノ好意

【二回ノ一 9 a】

ヲ表スルコトニ勉メラレタリ而シテ同局抄造手漉紙ニ付テハ現局長得能氏ノ家蔽カ局長ヲ奉職セラレシ頃ヨリ熱心ニ其助長ヲ計ラレタル所ニテ必竟我國産ノ一トシテ輸出ヲヲ

計ラル、ノ目的ナリシ故ニ民間ニ於テ一時ノ利益ヲ目的トスル会社等ト異ナリ製造方ニハ出来得ル限り注意ヲ加ヘ又其検査ヲ厳密ニシ一連ノ内ニテモ聊タリトモスタンダードヨリ品質落チルモノアレハ惜気ナク之ヲ刎ネ再ヒ原料ニ廻ハシタリ其結果トシテ英仏等ニ於テハ非常ニ声価ヲ博シ既ニ福井氏ヨリ一言シタル如ク倫敦等ニ於テハ印刷局紙ノ外ハ取扱ヲ好マスト申来リタル位ナリ現ニ我々ノ目ヨリ見テハ印刷局紙ト殆ント相違ナシト考ヘラル、静岡製紙ノ如キモ仏国等ニテハ往々排斥ヲ蒙ルモノアリ又以テ如何ニ印刷局紙ノ良好ナルヤ又如何ニ仏国等ノ当業力紙ノ事ニ巧者ナルヤヲ知ルニ足ル

## 【二回ノ一 9 b】

斯ノ如ク我社カ印刷局紙ノ販路拡張ニ尽力シタルハ中々容易ノ事ニアラサルモ此取扱ニ依リテ利益ヲ得タル時期ハ極メテ短カク漸ク二十五年頃ニ至リ半季三千円乃至五千円ノ利益ヲ得二十六年下半年頃一度一万余ノ利益ヲ挙げ得タルコトアリ当時印刷局ニ於テモ物産会社ハ久シク局紙取扱ノ為メ損耗ヲ蒙ラシメタルモ此節幾分ノ利益ヲ得ルニ至リタルハ喜ハシキコトナリトテ満足セラレタル位ナリ然ルニ夫レモ僅ノ間ノ事ニテ翌二十七年日清戦役ノ起ルヤ印刷局ニ於テハ紙幣公債証書并軍人ニ与フル賞状等ノ製造

ニ忙殺セラレ手漉紙抄造ノ暇ナク其頃恰モ外国ニ於ケル販路ハ大ニ拡張シ注文続々到来スルニモ拘ハラズ之カ注文ニ応スルコト能ハサル有様ナリシ斯ル次第ナル故印刷局ニ於テモ氣ノ毒ニ感セラレ戦争平定ノ後ハ抄造ニ努ムルヘキ旨内話アリタルモ其後政府ノ用向ハ益々増加シ印刷局ニ於テハ到底充分手漉紙ヲ

## 【二回ノ一 10 a】

抄造スル能ハス去リトテ元來國産ノ一トシテ海外ニ其声誉ヲ博セントノ趣旨ニテ抄造ヲ初メラレタルモノハレハ其抄造ヲ断然中絶スルハ畜ニ物産会社ニ対シ忍ヒサルノミナラス折角海外ニ得タル我國産ノ信用ヲ地ニ委セシムルモノニテ如何ニモ遺憾千万ナリトノ念慮ヨリ今日迄細々ナカラ抄造ヲ継続セラレタル次第ニテ近頃ハ三十連乃至五十連ノ小口モ容易ニ抄造ナリ難ク且政府ニハ會計法其他予算等ノ關係アリ向後印刷局ニ於テ手漉紙ノ抄造ヲ盛ニスルノ見込ハ立タサル所ヨリ若シ民間ニ相当ノ資産ヲ有シ一時ノ利益ニ眩惑セス國家ノ為メ輸出品ノ製造ニ尽力スルノ心事ヲ以テ手漉紙ノ抄造ニ従フ者アレハ印刷局ニ於テハ其事業ヲ奨励シ熟練ナル職工モ讓渡スヘシ又技師モ遣スヘシ且ツ愈印刷局同様品質良好ナル手漉紙ヲ抄造シ得ルニ至レハ印刷局ノ製造ハ全然之ヲ廃止スルノ主意ナルカ如シ加之静岡

【二回ノ一 10 b】

地方ノ製造家モ昨今民間ノ事業ニ対シ政府ニ於テ競争ヲ試ムルハ其當ヲ得ス杯ノ生意氣ナル議論ヲ楯トシ印刷局ニ於ケル手漉紙ノ抄造廃止ヲ請願セントノ目論見ヲ為シ多少運動セル所アリタルモノ、如ク夫此ノ事情ヨリ昨年十月頃得能局長ハ静岡、岐阜、福井ノ三県下ニ出張セラレ民間製紙業ノ状態ヲ視察セラレタリ之ヨリ先キ同氏ノ出発ニ先チ余ニ其趣談話アリタルヲ以テ我社ヨリモ局紙ノ取扱ヲ為シ来リタル雜貨掛主任磯村ヲ夫レトナク同地方ニ派遣シ取調ヲ為サシメタリ然ルニ右出張取調アリタル結果民間ニハ安心シテ手漉紙ノ抄造ヲ任スヘキモノナシ寧ロ此際三井ニテ抄造ヲ初ムルコト、シテハ如何杯ノ談話モアリタリ印刷局ト我社トノ關係ハ既往右ノ如クニシテ現在又上ノ如シ然ルニ倫敦等ニ於テハ當方ノ事情明カナラサル故ニヤ印刷局ノ紙ハ何程注文スルモ思ハシク送荷セスシテ

【二回ノ一 11 a】

却テ品質ノ劣リタル静岡辺ノ製紙ヲ勸メ来ルハ如何ニモ其意ヲ得ストノ感シモアラシカナレトモ印刷局ハ右ノ如ク到底多分ノ抄造ヲ為スノ見込ナク殊ニ向後其抄造ヲ全廢スルニ至ルヘキヤ未タ知ルヘカラサレハ今ヨリシテ静岡等ニ於

ケル製紙家ト關係ヲ付ケ一方ニ於テ其奨励ヲ計ルト共他方ニ於テ製造并検査ヲ嚴密ナラシムルコトハ最モ必要ナルコトニシテ之カ為メ度々掛員ヲ産地ニ派出シ又營業部長自身ニモ静岡等へ出張シテ取調ヲ尽シ百方心配中ナレハ海外支店ニ於テモ本邦ノ事情ヲ察シ充分売リ方ニ尽力セラレタキモノナリ

◎益田 紙ノ話ハ大抵尽キタルカ如シ兎モ角モ輸出紙ノ事ニ

付テハ參事ヲシテ充分取調ヲ為サシムルコト、スヘシ  
次ニ材木并鐵道枕木ノ商売ハ如何

◎福井 材木并枕木ノ商売ハ大ニ擴張セシメタシト考フ從來日本ヨリノ材木ノ

【二回ノ一 11 b】

輸出ハ極メテ少ナカリシ点ハ大ニ失望スル所ナルモ枕木ノ輸出ハ支那各地ニ於ケル鐵道事業ノ開發ト共ニ漸ク増加シ来リ昨年ハ七十八万乃至八十万円ノ輸出ヲ為シタリ本年ハ恐ラク百万円ヲ超過スルナラン此他板類等モ輸出アルヘキ筈ナルニ其之レナキハ我國ノ木材ハ値段段低廉ナラサルニ依ルモノナラン

北海道ヨリ輸出スル枕木ハ仮ニ当分支那ニ於テ一ケ年二三  
百哩ノ鐵道ヲ延長スルモノト為スモ三百万挺ヲ下ラサルヘシ其他停車場橋梁兵營等ノ建設ニ要スル木材ノ需要ハ少ナ

カラサルヘク中ニ北海道産ノ木材ニテハ用途ニ適セサルモノモアルヘキモ概シテ北海道材木ノ輸出ハ大ニ望ミアルモノニ非サルカ且ツ夫レ枕木并木材ノ如キハ荷嵩リ船舶ノ事保険并金融ノ事等何レモ其道ノ経験ヲ要シ素人ノ容易ニ手ヲ下シ能ハサル所ナレハ最モ物産会社等ノ商売ニ適スルモノト云ハサル

【二回ノ一 12 a】

ヘカラス又米國ノ木材ヲ日本并支那ニ輸出スルコトモ向後一廉ノ商売トナルヘキ見込アレハ木材ニ付テハ輸出入共ニ永遠ノ商売トシテ経営致度考ナリ

◎益田 此商売ヲ経営スル方法手段ハ如何

◎福井 方法ハ先ツ北海道ニ出来ル丈ノ力ヲ尽スニ在リ夫レニハ資金ヲ投下シテ山林ヲ所有スル最得策ナリトノ

説アルモ之ハ少シ考ヘモノナリ故ニ商売人風ニ遣ル方可ナリ其ノ手段ハ北海道ニ於テハ信用アルモノ少ナキモ相手ヲ見テ其信用ニ応シ五百乃至千円ノ金ヲ貸シ付ケ買集メニ従事セシムルニ在リ

◎益田 枕木ハ入札ナルヲ以テ其時ニ入札シテ注文ヲ引受ケ後ニテ買付ケニ着手シテ可ナリ又材木ノ日本ヨリ支那ニ輸出セラル、板其他ノ小物ニ止リ大物ハ矢張米國ヨリ取寄スルコト、ナルヘシト考フ

【二回ノ一 12 b】

◎寺島 竹田氏天津赴任依頼材木ノ事ニ付往復ノ末鉄道用材中見込アリテ且ツ纏マリタル高ノ取引シ易キモノヲ選ミ寸法ヲ定メ見本ヲ造リ置キ之ニテ引合ヲ為スコトニ定メ名古屋ノ材木商鈴木惣兵衛氏ニ打合せタル処同人ニ於テ値段ヲ定メテ引受タルトキハ後日山ヨリ伐出シタル上ニテ割高二当ルコトアルモ値上ケ等ヲ請求セス畢竟同人ノ見込ヲ以テ引受ケタルコト、スヘシト協定シ見本十種計リヲ造リテ天津ヘ送り置キタリ

又台北ニ於テ台湾神社建築用材ヲ引受ケタル以來木材ノ事ニ付追々相談アリ而シテ台湾ノ建築用材ハ東京ノ材料ト同一ニテ大阪ノ材料ハ不向キナリ然ルニ丁度豊橋付近ノ木材ハ東京ヘ送ルモノナルヲ以テ台湾向ケニ適當ナルコトヲ知り台北支店ヘ文通ノ末向後注文アルトキハ豊橋付近ノ木材ヲ以テ引合フコトニ打合せアリ又檜ハ名古屋地方

【二回ノ一 13 a】

ヨリ多ク産出スル故是等ノ木材ヲ台湾ヘ送ルニハ三池地方ノ土管并瓦等ト積合セト為セリ荷物モ相当ニ調ヒ便利ナリ又名古屋ノ御料局ニ於テハ時々材木ノ入札払下アリ近日払下ノ分ハ台湾ノ注文ニ引当テ大阪ヘ打合ノ上入札セシカト

毛考へ居ケリ

◎長谷川 先年神戸ニ在リシトキ天津ヨリ枕木ノ注文ヲ受ケ北海道依リ送リタリ先刻福井氏ノ述ヘラレタル如ク北海道ニ於ケル買付出来ルナレハ売捌ニハ更ニ困難ナシト考フ何トナレハ支那ノ鉄道ニ対スル供給ハ日本并露領産枕木ヲ除キテハ他ニ競争者ナケレハナリ聞ク処ニ依レハ支那北部ニ於テハ氣候上ノ關係アリ日本内地ニ使用スル栗ハワレ易キ為メ用途ニ適セス故ニ北海道ニ産スル木カ又ハ露領ニ産スル木ヲ用ヒサルヘカラスト云フ

材木ノ商売ハ枕木ノミニ止ラス杉板并樅板等南洋ニ向テ輸出

【二回ノ一 13 b】

ノ望アリ蓋南洋ニハチーク、紫檀、黒檀等ノ堅木ノミニテ「ソフトウード」ナシ去レハ香港ヲ初メ南洋諸島ニ於テハソフトウードノ欠乏ヲ感シ大ニ其輸入ヲ仰ギツ、アレハ日本ヨリソフトウードヲ南洋ニ送リテ堅木ヲ輸入シ又日本ノ山林ハ近年濫伐ノ結果大ニ木材ノ出高ヲ減シ其価毛割高ナレハ比較的低廉ナル亜米利加木材ヲ輸入スルコト、セハ面白キ商売トナルヘキカ兎ニ角我々ノ經驗ハ極メテ淺ク僅カニ二三艘ノ枕木商売ヲ為シ若クハ五十万余ノ茶箱ヲカルカツタニ売リタル位ニ止レハ是非ノ断定ハ下シ難シ故ニ調査

員ヲ台湾若クハ北海道ノ如キ森林ニ富ム場所ニ派出シテ充分取調ヲ為サシメ又一方ハ桑港ヲ経テオレゴン等ニ於ケル木材ノ取調ヲ為サシメハ輸出入共案外立派ノ商売トナルヘシ

◎飯田 枕木并電信柱等ノ如キ商売ハ着手シテ差支ナシト考フ而

【二回ノ一 14 a】

シテ枕木ハ或ハ北海道青森又ハ山陰地方ヲ取調ニヘ予算ヲ立テ夫レニテ引合フトノ目途立テハ入札ヲ待タス買入レ置キ入札ノ際売却スルコトトナスヘシ若シ入札ヲ俟テ買付クルコトトセハ時ニ積出期限迄ニ揃ハサルコトアルヘシ電信柱ノ如キモ亦然リ乍去板物ノ取扱ヲ為スコトハ面倒ニシテ困難ナリヨシ面倒ハ忍フトスルモ困難ノ点ハ非常ノモノト覚悟セサルヘカラス即チ板物ハ其屑ノ処分方如何ニ依リ値段ニ關係スルコト少ナカラス故ニ専門家ニ在テハ小サキモノハ床板トシ長キモノハ如何背板ハ如何ニスルト云フカ如何辛苦シテ残り棄タリナキ様売捌ヲ工夫シ從テ板其物ノ値段ヲ割安ナラシムルモ我社ノ如キ素人ニ在テハ到底屑物ノ「コナシ」ヲ付クルコト能ハサルヘシ現ニ先般台湾神社ノ木材ノ注文ヲ引受ケタルトキモ更ニ材木屋ニ下受ケヲ為サシメ当社ハ只其監督ヲ為スニ止メタリ故ニ米國ヨリオレゴ

ンパイノ輸入シ角材ノ俣売

【二回ノ一 14 b】

却シ又ハ支那ヨリ枕木電信柱ノ注文ヲ受ケケ若クハ纏リタル材木ノ注文ヲ受ケケ材木屋ヲシテ之ヲ下受ケセシムル等所謂大問屋ノ仕事ハ之ヲナスヘキモ材木ヲ挽キ立テ、板トナシ之ヲ売却スルカ如キ材木屋ノ小仕事ハ断然手ヲ着ケサルコトニ為サ、ルヘカラス

◎松尾

材木ノ商売ニ付テハ我々ハ大ニ熱心ナリ遼東半島ニ於テ取調ヘタル所ニ依レハ支那ニハ木材少ナシ故ニ建築用材ハ之ヲ他ニ仰カサルヘカラス従来ハ多ク大同江地方ニ仰キ又米國オレゴンパイノ輸入セリ日本ヨリ輸入セラル、モノハ重ニ松板并杉板ナリ枕木ハ入札ニテ買入ル、故先刻來御話アリタル如ク当社ニテモ入札ニ加入スルコトニ致シタシ尤モ入札ト称スルモ真正ノ入札法ナルヤ將タ指名類似ノモノナルヤ曖昧ナリ今日ノ処本年中ノ枕木入用高ハ百万本位ナルヘシ其内既ニ約束ノ出来タルモノ二十五万本ナレハ此後約定セラルヘキ残高ハ

【二回ノ一 15 a】

七十五万本ナリ之ハ果シテ日本ト約定スヘキヤ否ヤ研究ヲ要ス蓋今日迄此約定ヲ見合セ居ルハ運賃割高ナルニ原因ス

ルヤ未タ知ルヘカラスト雖トモ而カモ亦滿州并ハバロッカ地方ニハ有望ナル山林ニ富ムヲ以テ今日ハ其伐採ヲ蒙リアルニモ拘ハラス他日鉄道全通ノ際ニ至リ日本并米國ノ木材高価ナルトキハ其伐り出シヲ許スヤモ計ラレス然ルトキハ大ニ我枕木并材木ノ商売ニ影響スヘシ又朝鮮ノ松島ハ露人ノ所有ナルカ周圍八哩四方アリ又材木ニ富ムヲ以テ是亦材木ノ商売上影響スル所アルヘシ又肥後ト日向ノ國境ニ内大臣ト称スル大森林アリ薩摩ニモ大森林アリ今日ハ木炭ノ原料ヲ得ル場所ニナリ居レリ之ハ政府ニテ扱下ノ希望アルモ農商務省ニテハ其取扱ヲ大林區署ニ一任シアリテ扱下ノ方法宜キヲ得サル為メ手ヲダスモノナシ又米ノ津ノ奥ニ大河内ト云フ堅木山林アリ

【二回ノ一 15 b】

周圍四里近クノ間ハ木ヲ以テ充サレ昼尚暗キ有様ニテ一尺ヨリ七八尺回りニ至ル大材アリ今日迄ハ之ヲ木炭ニ為シ居レトモ其方法如何ト云フト大林區署ニ於テハ五町歩三町歩四町歩ト云フカ如ク小部分ニ區画シ入札ヲ以テ扱下ケ而シテ其扱下期間短キヲ以テ之ヲ買取りタルモノハ僅ニ木ノ梢ヲ切りテ木炭ト為スニ止マリ木幹ハ勿論枝葉ノ如キモ其儘ニ打棄テ置クノ有様ナリ為メニ森木ノ發育ヲ妨クル尠少ニアラス然ラハ如何ニセハ可ナルヤト云フニ大資本家カ一里

若クハ二里四方ノ大区域ノ私下ヲ得運搬ノ便ヲ啓キ材木ヲ切出スコト、スルヲ最モ良策ト信ス要スルニ材木ノ商売ハ大ニ研究ヲナスノ価値アルヘシ

◎益田 北海道ニ於テ枕木并材木ヲ切出ス有様ハ如何内地ノ人ノミナラス清国各店ニ在ル人ノ参考トモナルコト故平田氏ヨリ概略述ヘラレタシ

【二回ノ一 16 a】

◎平田 枕木ノ事ハ単ニ机上ノ取調ノミニテ實際ヲ審カニセス故ニ詳細ヲ述フル能ハサルモ余ノ考ニ依レハ北海道ノ枕木商売ハ充分見込アルモ木材ニ付テハ余リ見込ナシト信ス蓋シ便利ノ場所ハ皆既ニ着手シテ切出シ居リ今後着手スヘキハ運搬不便ノ場所ナルノミナラス雜木ノミ多ク木質軟シト云ハンカ將タ「サリン」ト云ハンカ板ニ挽クトキハ破裂シ易シ故ニ木材ニ付テハ北海道ニ重キヲ置クコトヲ得ス寧ロ岐阜日向等ニ手ヲ着クル方得策ナルヘシ

枕木ハ内地ノ注文少ナク重ニ北清并露領向ケナリ冬季之ヲ切出シ夏ニ至リテ川下ヲ為ス本品ノ約定ニ付テハ信用ヲ措キ得ヘキモノ少ナク當時最モ盛ナルハ龍紋位ナリ昨年ハ枕木ノ約定ニ依リ多少利益ヲ得タル趣キナレハ引継キ此商売ヲ為スナラン斯ノ如ク小資本ノミナレハ大口ノ約定ヲ為ス能ハス小口ニ二三万本宛ヲ約定シ前貸ニテモ

【二回ノ一 16 b】

為ストキハ可ナランカ此他信用ヲ措キ得ヘキ手筋ハ皆自カラ商売ヲ為サントシ從テ下受ケヲ為サシメントスレハ値段高張り引合ニ相成リ難シ枕木切出シ方ニ付テハ別ニ新工夫ナク從來ノ如ク依然濫伐シツ、アルモノ、如シ

◎水谷 支那向枕木ノ種類ハ何々ナリヤ

◎長谷川 栗ハ従前支那ノ鉄道ニ用ヒタル結果凍ルトキハ割レル憂アリ故ニ北海道産ノ「セン」「タモ」ヲ望ムモノ、如シ馬尼刺ニ於テ米政府ノ計画セル鉄道ニ於テハ枕木ハ粟ニ限ルト為シタリト聞ク

余ハ前ニ板ノ事ヲ述ヘタル所恰モ板ノ小売ニテモ為スカノ如ク聞取ラレタル觀アルモ余ノ意思ハ然ラスチーク用材又ハオレゴンパイン等ヲ大口ニ取扱フハ勿論板ノ如キモ九州地方ヨリ支那ニ輸送セラル、モノハ寸法モ一定シ一種ノ商品トシテ大口ニ取扱ハレ居ルカ故ニ此商売モ

【二回ノ一 17 a】

經營スヘシトノ主意ナリ決シテ自カラ材木屋トナリ山ヨリ板ヲ切出シテ小口ニ販売スルニハアラス

◎益田 北海道ニ於ケル鉄道枕木ノ商売ハ前年トハ大ニ其趣ヲ異ニセリ即チ従前ハ之レカ買集メ方非常ニ困難ナリシモ

今日ハ上川ノ鉄道開ケタルカ為メ沿道各地ヨリ枕木ヲ切出シ初メ十萬二十萬ノ枕木ハ常ニ停車場ニ山ヲ為ス有様ナリ故ニ売方ヨリモ寧ロ買方容易ナリ若シ鉄道更ニ延長シテ十勝根室ニ進マハ枕木ノ供給ハ益々潤沢トナルヘク旁以テ向後ハ売り方ヲ先ニセサルヘカラス清国各支店ニ在ル人ハ此考ヲ持ツコト分ケテ必要ナリ

◎平田 是迄ハ余リ例ナキモ我社ニテ大数ノ枕木注文ヲ引受ケタリトナレハ北海道ニ於ケル枕木ノ持主ハ同盟シテ高値ナラサレハ売却セスト申張ルコトナシトセス故ニ売り方ヲ先ニシ買方ヲ後ニスル以上ハ反對

【二回ノ一 17b】

二彼等ヲ圧服スルノ策ヲ取ラサルヘカラス

◎松尾 島内カ枕木十五萬挺ヲ引受又露清銀行ノ支那人カ同十萬ヲ引受ケタル所ヨリ見レハ此商売ハ案外容易ナルニハ非サルカ且枕木ノ種類モ日本ト同様ニテ唯粟ヨリモ寧ロ松ノ方可ナリト云フノミ

◎上田 前年ハ支那鉄道ノ枕木ノ入札ニハ栗ヲ除キ居リタレトモ近頃ハ栗ニテモ差支ナキコト、ナリタリ又寸法モ最初ハ堅木五インチ軟木六インチノ定メナリシモ近頃ハ双方共二六インチニ改メタリ

◎水谷 値ハ何程ナルヤ

◎松尾 一挺九十二錢位ナリ

◎水谷 九十二錢ニテハ石州辺ノ栗木山ヨリ切出スモ到底引合ハス

◎小田柿 材木ノ商売ハ極メテ面倒ナルモノナレハ東京カ大阪ヘ其道ノ専門家ヲ置キテハ如何

【二回ノ一 18a】

是迄専門家ナキ為メ出来ソナル商売モ出来サリシコトアリ即チ長崎大阪等ヘハ度々引合ヒタルモ事情疎通セサル為メ遂ニ出来セス是迄商売ノ成立チタルハ東京ノミナリ

◎益田 専門家ヲ何地ニ置ク意カ

◎小田柿 東京大阪長崎何レニモ可ナリ専門家ヲ一兩人置クトキハ米國ヨリモ其人ト引合フヘク又内地ノ注文モ其人ニ於テ取集メテ桑港ヘ電信スル様為ストキハ大二電信料モ助カルコトトナル

◎飯田 大阪ニ於テ是迄材木ノ商売成立セサリシハ専門家ナキカ為メニ非ス船便ナキト遇々之アルモ積量大ニシテ一手之ヲ買取ルモノナカリシ為ナリ若シ桑港ノ相場ヲ大阪ヘ取寄セ充分利益アル相場ナレハ売不足ノ数量丈ハ社持トシテ一船買約センカトモ考ヘタレトモ夫程迄ノ利アル勘定トモナラス旁大口注文アル迄見送りタル次第ナリ故ニ専門

家カ居ラサレハ此商売ハ經營シ能ハストハ云フコト能ハス

## ◎益田

材木ハ大口ノ注文ニアラサレハ引受ケ得ヘキモノニアラス夫ノ小サキ材木屋杯ト競争シテ小口ノ商売ヲ為スカ

如キハ勿論不可ナリ從テ枕木電信柱ノ如キハ我社ノ商売トシテ適當ナルモノタルヘキモ材木ノ商売ハ畜ニ之ノミニ止マラス板モアルヘク茶箱モアルヘシ又日向薩摩等ノ森木モ取調ノ要アルニ依リ適當ナル人ヲ得テ詳細ノ調査ヲ為サシムルコトハ必要ナランカ

## ◎小田柿

次ニ尚ホ一ツ参考ノ為メ申上置度ハ是迄此商売カ

成立セサリシハ専門家ノ居ラサルコトノ外運搬船ノナカリシコトモノノ原因ナレハ桑港本邦間ニ常ニ一般ノ風帆船ヲ雇入レ置クコトニ致シタシ蓋シ往航ニハ石炭硫黄米等ヲ合ハセ少ナクトモ半荷位ハ集マルヘク又復航ニハ材木ノ外麦粉小麦鉛等ヲ取集メ船腹ヲ充タスコトヲ得

ヘシ且又荷物極メテ少ナキトキハ天津若クハ浦塩斯德等ヘ回船スレハ其使用方ニ窮スルカ如キコトナカラン故ニ此事ハ是非共御実行願ヒタシ

## ◎飯田

余ノ考ニ依レハ今日ハ商売ハ総テ帆船前時代ニ非ス

麦粉ニアレ小麦ニアレ帆船前船ニテ緩ト取寄セ居ル様ニテハ

商売トナラサルヘシ故ニ夫レヨリモ汽船ノ便アルトキ此船

ニハ若干ノ船腹ノ余裕アリ材木又ハ麦粉ヲ買付ケテハ如何ト云フカ如ク船腹ノアル都度オツファーヲ出スコトニ致シ

タシ

## ◎松尾

帆船前ノ商売ハ甚タ危険ナリ昨年佐世保ニ納メタル材

木ハ期限後レ大ニ心痛セリ役所ノ注文品ハ期限延滞一日ニ付何程ト云フカ如キ罰金ヲ科セラルヘキヲ以テ尚更飯田君ノ説ノ如ク汽船ノ安運賃アルトキ引合ヲ為ス方安全ナリト考フ

## ◎福井

材木ノ商売ハ一船約定セントナレハ八十万呎位ハ買

入レサルヘカラス然ルニ我国ニテハ未タ此大高ヲ一手ニ約定スルモノナシ此事ニ付パシフィック

エキスポート、ランバーコンパニーノ支配人來朝ノ節交渉シ結局一船分ヲ約定スルコトハ困難ニ付入用分丈積出スコトニ致シ度船ノ心配ハランバーコンパニーノ方ニテスルコトニ致シ度ト述ヘ同意ヲ得其後汽船積ニテ五十万フィートノ割積商売出来セリ今後二十万又ハ十五万フィートノ取引モ成立スルコトアランカ我国今日ノ需要ハ大抵一口十五万乃至二十万位ナリ思フニ米国側ニ於テモ支那并露西亞ノ鐵道用木材等ノ注文ヲ引受ケタルコト故夫等ノ船便ヲ利用シ

小口ノ注文先方ニテ「エキセキユート」シ得ルコトアラン  
乍去今後追々材木ノ商売発達スルトキハ汽船一艘位ヲ太平  
洋ニ浮フルコトニ致シ度モノナリ

◎小田柿 是迄日本ノ注文割高二当ルハ小寸法ノ分数物多キ  
故ナリ即チ米國ニ於ケル材木ノ注文ハ大抵二分ノ一吋止  
ルモ日本ヨリノ注文ニハ 1 1/3 吋又ハ 5/8 吋云フカ如キモ  
ノアリ之ヲ挽立テシムルトキハ非常ニ先方ニ於テ

【二回ノ一 20 a】

手数ヲ要スルカ為メ値段割高二当ル故ニ今後注文ノ場合ニ  
ハ予シメ關係店ヘ差回シアル寸法ノスタンダードニ依ルコ  
トト致シタシ左スレハ記載ノ価ヨリハ一割又ハ二割引ニテ  
取引出来スヘキモ寸法外ノ注文ナルトキハ値段倍額ニモ上  
ルコトアリ此事ハ深川ノ材木商ニ詳シク説明シ日本ニテソ  
ノ、ミルノ如キモノヲ造リ米國ヨリ寸法通りノモノヲ取寄  
セ日本ニ持来リタル上日本ノ需要ニ適合スル様挽立ツルコ  
トトシテハ如何ト相談シ置ケリ何レ此ソーミルノ事ニ付テ  
ハ取調ヲ為シタシト考フ

◎益田 亞米利加ノコンパニーニテハ日本ヘノ売捌方擴張ノ  
為メ送荷ヲ為サ、ルカ

◎吳 同社支配人來朝ノ節積出中ノ荷物売方ニ付相談アリ  
色々奔走シタルモ取引出来セス遂ニフレザールカ該荷物ヲ引

受ケ売却

シタル旨聞キ込ミタリ

【二回ノ一 20 b】

◎小田柿 一二回取引シタル後ナレハ送荷ヲ為サシムルコト  
ヲ得ン

◎益田 既ニ一二回取引シタルニ非サヤ

◎小田柿 是迄ノバシフイツクエキスポートランバーコンパ  
ニーハ送荷セシムル見込ナシ故ニ他ノ会社ト取引シタシ

◎北村 コンミツシヨンマーチヤントト取引スルトキハ余リ  
面白味ナカルヘシ

◎小田柿 オレゴンパイント云フモ其実オレゴンニ産スルニ  
非ス尚淺草海苔ノ淺草ニ産セサルカ如シバンクーバー、ピ  
クトリヤ、シヤトル等ノ付近ニ産出スルモノナリ故ニ向後  
ハ本場ト取引スルコトニ致シタシ

◎福井 「ソーミル」ト直接取引スルヨリモ商人ト取引スル  
方船便其他心配ヲ為サシムルニ都合宜シ故ニ矢張バシフイ  
ツクエキスポートランバーノ如キモノヲ相手トセサルヘカ  
ラス

【二回ノ一 21 a】

◎小田柿 我社ニテ帆前船ヲ一艘通ハセ積取りノ便ニ供シタ

シ

◎益田 帆前船ハ千八百六十年頃ノ商売ニテ今日敏活ヲ貴フ  
 商界ニ適セス又硫黄ト麦粉トノ売買ヲ組合ハセルト云フカ  
 如キモ理屈ハ甚タ立派ナレトモ実行シ難シ若シ往返ノ荷物  
 揃フヘキ見込アリ且船ノ經濟カ立ツナレハ何時ニテモ社船  
 ヲ廻ハスコトヲ得ヘキモ夫レ迄商売ノ進歩スル迄ハ船ヲ用  
 意スルモ其詮ナシ

◎福井 硫黄ト材木トノ組合ハセハ出来ルコトアリ

◎益田 硫黄ヲ送り戻荷ニ材木ヲ積来リ深川ニ囲イ買人ヲ待  
 テ売渡スト云フカ如キ古風ノ商売ニテハ到底不可ナレハ都  
 合好ク組合ハセノ出来ルコトハ稀ナルヘシ

◎小田柿 深川ニテ材木商トモ色々種類ヲ交エ成行相場ニテ  
 送ルコトニ相談略纏リタリ大阪并長崎ニテモ入用ナレハ其  
 時少シノ高二テモ

積合せスルコトニスヘシ

【二回ノ一 21b】

◎寺島 木材関係ニ於テハ茶箱アリ麦酒箱アリ又セメント樽  
 ノ如キモノアリセメント樽ハ一口ニテ二十万樽位ノ注文ア  
 ルモ名古屋ニテ作ルハ一ヶ月二万位ニ過キス尤モ小口ヲ集  
 ムレハ相当ノ高二上ルヤモ知ルヘカラサレトモ纏メタル高  
 ヲ製造スル会社様ノモノナシ之ニ資金ノ補助ヲ与ヘ会社ヲ

組織セシメ大規模ノ製造ヲ計ラシムル様ニナシテハ如何

◎益田 夫モ一説ナリ兎モ角材木ノ事ニ付テハ巧者(ククロウ  
 ト)ヲ得テ取調ヲ為サシムルコトトスル方可ナラン

◎小田柿 其道ノ専門家ヲ得ルコトニナレハ桑港ニ於ケル材  
 木ノ商売ニモ大ニ役立つヘシ

【二回ノ二 1a】

◎益田 是ヨリ燐寸ノコトニ付現在ノ有様并将来ニ対スル擴  
 張方針ノコトヲ飯田氏ヨリ承ルコト、シタシ

◎福井 海外支店ニ在ル人ハ大ニ利益ヲ得ルナラム

◎飯田 燐寸八年々輸出額増加シ欧州ヨリ東洋ニ来ル品物ハ  
 日本品ノ為メニ庄倒セラル、勢ナリ而シテ我社ハ仕入地タ  
 ル内地并販売地タル東洋各港ニ支店ヲ有スルニモ拘ラズ本  
 品ノ取扱ヲ為サ、ルハ如何ニモ残念ナリトノ処ヨリ大阪支  
 店ト支那各港支店ト協議ノ上種々ニ其取扱ヲ初メタル該  
 品ハ取扱ヘハ取扱フ程益々六ヶ敷コトヲ発見ス蓋シ燐寸ヲ  
 販賣スルニハ商標カ土台トナルモノニテ需用者ハ其商標ヲ  
 信用シテ之ヲ買取ルモノナリ然ルニ支那人ハ従来久シク此  
 商売ニ従事シ或ハ工場ニ貸金シ或ハ又先約上ヲ結ヒ若クハ  
 又仮約定ヲ為ス等ノ方法ニ依リ製造者

【二回ノ二 1b】

ト関係ヲ付ケ又一方ニ於テ商標ヲ登録シテ其売込ニ努メツ、アルヲ以テ其中ニ入りテ競争スルコトハ中々骨ノ折レル仕事ナリ而シテ我社ニ於テハ既ニ四五年以前ヨリ専用ノ商標ヲ登録シテ之カ売扱メニ尽力シタルモ何分製造方引当ニナラサルヨリ大阪製燧株式会社ニ対シ金三万円を貸渡シ其製品ノ一手販売ヲ引受ケタリ然ルニ海外ノ売行意ノ如クナラス一手販売ノ約定アルモ却テ当社ニ於テ一手ニ販売シ得サル為メ内地売ヲ許容セサルベカラサルカ如キ始末ニシテ現在一ヶ月三千乃至五千函ノ製造中幾分ハ内地売ヲ許シ居レリ乍去又一方ニ於テハ燧寸ノ製造ヲ托スルハ自ラ燧寸製造ノコトヲ詳悉セサルベカラストノ考ヨリ小燧寸会社ノ株券ヲ買入レテ約一万余ヲ出資シ余モ其事業ニ関係シ原料ノ相場ヨリ製造費ノ實際等ヲ取調ヘ見本注文ノ如キハ該会社ヲシテ之

【二回ノ一 2a】

ヲ製造セシメ以テ他ヨリ買入ル、場合ノ参考ニ供シ居レリ斯ノ如キ順序ニテ一通リ陣立テハ出来居ルモ他ニ比シテ我社売出ノ燧寸格安ニ当ラサル為メ往々ニシテ他ノ為メニ販路ヲ制セラシ、ヲ免レス此上ハ仮令少々損失ヲ蒙ルモ売込ニ勉メサルヘカラス然ラスンバ到底此商売ヲ擴張スルヲ得ス依テ前年来海外各支店共協議ノ上良シヤ多少ノ損失アル

モ商標ノ売込ニ努ムルコト、決シ台北、上海、香港、新嘉坡等ノ各店ト力ヲ合セテ本商務ノ進捗ニ従事シツ、アリ幸ニ上海及天津ニテ昨年来少シク販路ヲ見出し時二千三千ノ注文アリ之ニハ専ラ我社ノ商標ヲ売込ム考ナルモ斯クテハ商内ノ範圍狭ク販路ヲ広ムルコト能ハサルヲ以テ余儀ナク他ノ商標品ヲモ取扱ヒ注文ニ応シ其副仕事トシテ我社ノ商標ヲモ売込ムコト、為シ居レリ此他十分売込ミアル商標

【二回ノ一 2b】

モ可成金ヲ出シテ買取ル方針ナルモ意ノ如クニハ相運ハス然レトモ機会ヲ得レハ商標ヲ買取り以テ該商売ノ伸張ヲ計ル考ナリ又燧寸商売ノ傍塩酸加里等ノ原料ヲ取扱ヒ軸木モ亦製燧社ト相談シテ各安物アレハ買取りテ供給シ以テ製品ヲ安く挙ケル工夫ヲ為シ居レリ尚一步ヲ進ムルトキハ軸木ヲ北海道ヨリ買取ルコト、セハ一層製品ヲ低廉ナラシムルコトヲ得ヘク從テ販売上便宜ヲ得ヘシト思考シ折角重役ニ申出サント欲スル所ナリ要スルニ燧寸ハ日本ヨリ東洋各港ニ供給スヘキ運命ヲ有スルモノナレハ多少ノ損失ハ顧ミス十分ニ其伸張ヲ計ル考ナリ海外各支店ニアリテモ其考ヲ以テ十分力ヲ副ヘラレタシ

◎益田 北海道ノ「ドロ」柳ハ容易ニ買付ケ得ヘキヤ

◎平田 買付方ニハ困難ナシ栖原角兵衛氏モ捉捉ニ於テ軸木

ヲ製

シツ、アルモ木色黒ク余り面白味ナキカ如シ

【二回ノ二 3 a】

◎益田 燐寸ノ値段ヲ安クスルニハ手間賃ノ高クナルニ從ヒ手工ヲ廢シ器械力ヲ應用スルコト、セサルベカラズ又軸木ノ原料タルドロ柳モ濫伐ノ結果追々運搬便利ナル場所ニハ品切レトナルヘキヲ以テ今ヨリ十年後ノ計ヲ為サントセハ便利ナル土地ヲ得テドロ柳ヲ種付クルカ若クハ又ドロ柳アル場所ヲ買取り置ク等ノ施設モ為サザルヘカラサルヘシ尚ホ一ツ研究ヲ要スルハ支那居留地ニ於テ燐寸製造業ヲ起スノ利害如何ニアリ

◎飯田 支那ニ於ケル燐寸製造業ニ付テハ嘗テ取調べタルコトナシ故ニ詳細ノコトハ述ヘ能ハサルモ今日漢口并上海ニ於ケル燐寸製造所ハ何レモ日本ヨリ箱并軸木ヲ輸入シ又塩酸加里等ノ薬品ハ之ヲ海外ニ仰キツ、アルヲ以テ工賃非常ニ低廉ナルニ非サレハ到底良キ計算

トハナラサルヘシト考フ仮リニ之ヲ薬品ニ見ルモ日本ニテハ無税ナルモ支那ニテハ輸入税アリ斯ル次第ナル故支那ニ於テ燐寸製造業ヲ起スモ利益ノ勘定トハナラサルベシ

【二回ノ二 3 b】

◎吳 余ノ曩ニ梧州ニ赴キタル際取調べタル所ニ依レハ廣東ノ内地ニ燐寸製造所三ヶ所アリテ日本人ヲ職工監督者ニ雇入レ其製造法モ日本風ニシ又商標モ日本品模造ナリ而シテ軸木ハ最初之ヲ日本ニ仰キタルモ引合ハサルカ為メ其後広西ノ内地ヨリ黒色ヲ為セル楓ヲ取り寄セテ軸木ヲ造リ居レリ其他ノ材料ハ凡テ之ヲ日本ニ仰ギレベルノ如キモ横浜ニテ印刷セシメ先方ニテハ単ニ之ヲ貼付スルノミスクテ梧州ニ在ルモノハ引合ハサルカ為メ事業ヲ中止シ又廣東ノ佛山ニアルモノハ引合ヒタルモ日本人ノ商標ヲ使用シタカ為メ商標主ヨリ領事ヲ經テ總督ニ申込ミ其使用ヲ禁止セシメタル為メ是亦事業ヲ中止スルノ已ムヘカ

【二回ノ二 4 a】

ラサルコト、ナリ今日ハ唯一軒ヲ余ス而已又香港ニテ一ヶ所製造所アリタレトモ中絶セリ斯ル有様ナル故若シ支那ニ於テ燐寸製造所ヲ起ストスレハ其原料ヲ支那ニ得ルノ計画ヲ為サ、ルヘカラス

◎益田 燐寸ヲ日本ヨリ支那ヘ輸入スルニ付要スル運賃并輸入税ト軸木ヲ日本ヨリ支那ニ輸入スル【二】欠カ付要スル運賃并輸入税トヲ比較スレハ勿論前者ノ方多額ナルヘク又労銀モ一石十円以上ノ米ヲ食スル日本人ト五円内外ノ米ヲ食スル支那人ト同日ノ論ニ非サルヲ以テ苟モ同一ノ

熟練ヲ得ルトセハ支那ニ於テ製造スル方割合ニ当ラサルベ  
カラス尤モ日本ニ於テ燐寸ノ輸出ハ無税ナルヲ以テ之ヲ南  
洋ニ輸出スル場合ニハ支那ヨリ輸出税ヲ支払ヒテ積出スヨ  
リモ割安ナルヘキモ内地売ノ分ハ支那ニ於テ製造スル方割  
安ニ当ルヤモ知ルベカラズ故ニ支那ニ於テ日本人カ燐寸業  
ヲ起ス可否ハ研究シ置クコトニ致シタシ

【二回ノ二 4 b】

◎**曰井** 昨年支那ニ改革アリタルトキ張之洞カ工業奨励ノ為  
メ或ル支那人ニ自己ノ管轄地内ニ於テ五ヶ年間燐寸ヲ製造  
スルノ特許ヲ与ヘ且政府ヨリ保護金ヲモ与ヘル筈ナリシカ  
政府ハ間モナク顛覆シタルカ為メ保護金ハ沙汰止ミトナリ  
タルモ特許丈ハ存続セリ当時英國人ニ於テ其権利ヲ得ント  
奔走中ナリト聞ケリ

◎**福井** 燐寸業ハ瑞典、那威ニ於テ最モ盛ナリ

◎**益田** 原料タル木ニ富ムカ故ナリ然レトモ近年独逸ニ於テ  
銳意山林法ニ改良ヲ加ヘタル結果燐寸業ノ発達ヲモ致シ日  
本等ヘモ輸入ヲ見ントスルノ趨勢アリ我國ニ於テモ須ラク  
山林法ヲ改良シ之ニ備フルノ策ヲ画セスンハ独逸品ノ為メ  
ニ不遠其販路ヲ侵奪セラ、ルニ至ルベシ

◎**吳** 支那ニ於ケル燐寸製造業ノ発達セサルハ職工ガ燐寸ヲ  
盗ム為メ計算立タサルニ依ル故ニ若シ支那ニ於テ燐寸業ヲ

起サントスレハ必ス

【二回ノ二 5 a】

ヤ其監督ヲ蔽ニセサルベカラズ  
◎**福井** 向後勞銀騰貴スルトキハ今日ノ燐寸業ニ改良ヲ加ヘ  
器械ヲ応用セサルヘカラサルベシ

◎**飯田** 米國ダイヤモンド会社ノ器械図面并予算書等ヲ取調  
ヘタルコトアリ器械ハ可ナリシモ円軸ナリシヲ以テ東洋ニ  
ハ売行悪シカルベシ軸木ハオレゴンパインノ切レ端等ヲ使  
用シ得

◎**益田** 日本ヨリ其道ニ經驗アル者ヲ派遣シテ調査セシメタ  
シ

◎**飯田** 製燐社ト相談シ燐寸組合ヨリ派出セシムルコトヲ試  
ムベシ

支那ニテハ紙ニ火ヲ付ケ燐寸ニ代用スル風習ヲ改ムニ非サ  
レハ燐寸ノ販路ヲ大ニ擴張スルコトハ困難ナリ  
又大阪ニテ燐寸ヲ造ルニ安クモ十七円二十三錢ヲ要ス然レ  
トモダイヤモンドノ機械ヲ用ユレハ十五円位ニテ造リ得ヘ  
ク或ハ十二三円ニテ拳ルヤ知レズ

【二回ノ二 5 b】

◎**益田** 其器械ヲ造リテハ如何

表6 [明治32年度 商品売渡高]

年次	上半期	下半期	合計
外国品ヲ日本ニテ売渡高	17,298,952	22,716,656	40,015,608
日本品ヲ外国ニテ同上	12,239,375	13,199,675	25,439,050
日本品ヲ日本ニテ同上	3,775,426	6,267,954	10,043,380
外国品ヲ外国ニテ同上	247,718	484,206	731,924
合計	33,561,471	42,668,491	76,229,962

表7 [商品売渡高3年度対照表]

	32年度	31年度	30年度
外国品ヲ日本ニテ売渡高	40,015,608	38,787,868	33,539,913
日本品ヲ外国ニテ同上	25,439,050	13,404,034	10,431,690
日本品ヲ日本ニテ同上	10,043,380	9,609,848	9,303,515
外国品ヲ外国ニテ同上	731,924	761,178	178,672
合計	76,229,962	62,562,928	53,453,790

◎飯田 出来上リノ見場悪シ最初ハ損失ヲ覚悟セザルベカラ  
 ◎益田 ドロ柳ヲ軸木ニ用ユレバ可ナラム  
 ◎山口 米國フヒラデルヒヤ Segel 社製ノ燐寸製造器械ハ巧  
 ミニ出来居リ軸木ヲ製シ之ニ薬品ヲ塗付スル等一ニ器械ノ  
 作用ニ依ル殊ニ該器械ノ長所ハ出来上リタル燐寸カ五拾本

ツ、出テ来ルヲ以テ直ニ之ヲ箱ニ詰メ得ルニアリ然レトモ  
 又其欠点ハ薬品ノ付キ方不同ナルノ点ニアリ若シ人アリ  
 「ハケ」ヲ以テ薬品ノ付キ方不足ナル処ヲ補フトキハ此欠  
 点ヲ免カル、コトヲ得ヘシ又此器械ニハ蒸氣ノ作用ニ依リ  
 軸木ノ乾燥セシムルノ装置ヲモ付セリ

◎益田 高辻技師ノ渡米ヲ幸ニ夫等ノ器械ニ付テモ十分取調  
 ヘシムルコトト致スベシ

◎福井 燐寸ノ輸出国ハ貧弱ナリ

【二回ノ二 6 a】

◎益田 仮令貧國ト云ハル、モ更ニ顧ミル所ニ非ス十分其輸  
 出ヲ拡張スヘキノミ

俵昨年度ニ於ケル營業ノ成績ノ取調出来シタル故其大要ノ  
 ミヲ左ニ述フヘシ(詳細ハ考課状ニ譲ル)  
 明治三十二年度商品ニ関スル成績左ノ如シ

【ここに表6】

本表第一項ヲ日本ノ輸入貿易ノ総額ニ対比スレハ凡一割八  
 分一厘五

【二回ノ二 6 b】

表8 〔決算勘定書科目別売渡高〕

	32年度売渡高	31年度売渡高	30年度売渡高
	円	円	円
綿花、糸、布	36,448,639	20,864,806	20,155,104
石炭	10,219,321	8,243,555	4,630,620
生糸	5,004,339	3,151,398	2,189,240
米	4,770,593	8,756,544	2,419,893
鉱物	3,265,222	2,170,279	2,187,573
農産物	2,976,351	2,507,047	1,378,293
機械類	2,576,316	2,474,073	8,099,631
鉄道用品	2,385,301	5,312,607	4,510,385
水産物	567,475	1,996,143	3,285,803
雑品	8,014,405	6,886,476	4,597,248
合計	76,229,962	62,562,928	53,453,790

〔翻刻注：明治31年度の合計欄の数値は科目別内訳の合計より200,000円大きく、32年度は同じく2,000円大きいのが、原本数値のママとした。〕

〔(ハ)に表7〕

(三十一年度ハ一割四歩強) 第二項ヲ輸出貿易ノ総額ニ対  
比スレバ凡一割一步八厘強(三十一年度ハ八歩強)ニ当ル  
尚参考ノ為メ最近ノ二年度ニ対照スルコト如左

〔(ハ)に表8〕

即チ三十二年度ハ三十年ニ比シテ四割弐歩、三十一年ニ比  
シテ二割二歩ノ増率ニ相当ス之ヲ決算勘定書ノ科目ニ従ヒ  
表示スレハ左ノ如シ

【二回ノ二 7b】

◎益田 綿布ニ付テハ昨年来共通計算規定ヲ適用シ首部ヲ設  
ケタル結果大ニ本商売ノ発達ヲ致シ今後益進歩ノ見込アリ  
就テハ諸君ノ御参考迄ニ藤野君ヨリ成行ヲ述ヘラレタシ  
◎藤野 先ツ綿布ノ取扱高ヨリ述ヘンニ各仕入店ニ於ケル当  
季綿布取扱高左ノ如シ

店名	買方	売方
東京	五六〇九八	八一、六三七
名古屋	三〇、一六六	一三、八九三
大阪	四五三、四一九	三二一、七〇六

右ノ内東京ニテ取扱ヒタルハ手織木綿多数ヲ占メ其内大部  
分ハ台北ヘ輸送セリ大阪ニテハ主トシテ器械綿布ヲ取扱ヒ  
タル為メ金高巨額ニ上レリ

【二回ノ二 8a】

又各販売店ニ於ケル綿布取扱高ハ下ノ如シ

店名	買方	売方
台北	七九、四八九円	四七、九一六円
香港	一〇九、九六四弗	一一三、六二九弗
上海	九五、六三一兩	九三、四六八兩
天津	五二、三一八兩	五六、四二三兩
	四、六七七兩	

(但仁川芝罘并營口ハ報告未着)

是ヨリ進ンテ綿布商売ノ概況ヲ述ヘンニ本年ハ取分ケ欧州綿布ノ景況可ナリシ為メ支那人ハ総テ欧米ニ対スル約定ヲ延引シ其結果現物ノ払底ヲ告ケ大ニ日本綿布ノ輸入ヲ企図シ又其当時日本ニ於ケル綿布ノ相場ハ比較的割安ナリシカ為メ大分清国ニ輸出セラレ之カ一ノ広告トナリテ日本綿布ノ真価ヲ認知セラレ

【二回ノ一 b】

其後再度注文入込ミタリ然ルニ我機械綿布ノ産出高ハ僅々三百万円ニ過キササルニモ拘ハラズ支那ニ於テ使用スルモノハ五千万円以上ナレハ単ニ其十分ノ一ダモ不足從テ続々來ル所ノ注文ニ対シ相場ノ沸騰ヲ致シ引続キ支那ノ需用ヲ充タス能ハズ支那ニ於テハ又々欧米綿布欧米綿布ヲ買付クルコトナリ我綿布ハ殆ント忘却セントスルノ傾ヲ呈セリ斯

ル有様ナルヲ以テ日本棉布業ノ發達ヲ画セントナレハ須ラク先ツ我機械織布ヲ増加セシムルノ準備ヲ為サ、ルヘカラス依テ試ミニ我機械織布ハ克ク米國棉布等ニ競争シ得ヘキヤ否ヤヲ取調ヘタルニ今日迄ノ処ニテハ旧來ノ日本紡績系ニテハ到底器械棉布ヲ製織シ得サルコトヲ發見セリ蓋シ當初紡績器械ヲ輸入スルニ當リテヤ専ラ日本棉ヲ以テ十六手又ハ十八手ノ太糸ヲ紡出センコトヲ目的トセリ現ニ東京紡績ノ如キ日本ノ綿問屋ヨリ

【二回ノ一 g a】

日本棉ヲ買入レテ紡績ヲ為スノ目論見ヲ以テ設立セラレタルモノナリ然ルニ武州三州等ノ日本綿ハ紡績ニ適セサルヨリ支那綿ヲ輸入シ以テ印度綿ノ輸入ヲ計リ更ニ進テ米國綿ノ供給ヲモ仰ク程度ニ進ミタルモ各紡績ノ使用スル棉花ハ未タ何レモ織緯ノ極テ短キモノナルヲ免レス從テ之ヲ以テ紡出シタル綿糸ハ手織綿布ヲ製出スルニ適スベキモ機械綿布ヲ製織スルニハ不適當ナリ何トナレハ糸ノ切断スル度合多ク從テ工女ヲ要スルコトモ多ケレハナリ然ラハ米國ニ於ケルト同シク最良ノ紡績機械ヲ用ヒ其原料タル棉花モ最良品質ノモノヲ用ヒ其紡糸ヲ以テ機械棉布ヲ織成スルトセハ如何棉花運賃ノ差、石炭代價ノ差金利ノ差等ヲ見込ムモ工女ノ賃銀非常ニ低廉ナルノ点ニ於テ我織布事業ハ終局ノ勝

利ヲ占ムベシ今米国地方ヲ視察セル人ノ報告ニ依レハ米國  
工女ハ平均一人

【二回ノ二 9 b】

ニテ七台ヲ受持チ一週五十四時間ニテ賃銀七弗五十仙ノ趣  
キナレハ之ヲ我貨ニ幣換算セハ約十五円トナリ一時間ノ賃  
金殆ソト二十五錢ニ相当スヘシ然ルニ日本ノ工女ハ一日十  
二時間以上ノ労働ニ対シ平均三十錢ヲ超エサルヲ以テ一時  
間ノ賃銀二錢五厘ニ過キス全然米國工女ノ賃銀ニ比シ十分  
ノ一ノミ此安キ工女ヲ使用シ其技術ハ米國工女ト伯仲ノ間  
ニ在リトスレハ競争上ニ於テハ決シテ敗ヲ取ルノ恐レナシ  
然ルニ從來我國ノ織布会社力損失ヲ重ネ殆ソト工場ヲ休止  
セサルベカラサルカ如キ悲運ニ遭遇シタルモノアルハ畢竟  
原料綿花ノ良好ナルモノヲ使用セサリシニ原因スルモノニ  
シテ小名木川棉布会社ノ如キモ此点ニ着目シ原料ト器械ト  
ノ關係ヲ親切ニ調査シテ以來利益ヲ拳ケ得ルニ至リ又岡山  
紡績会社力盛況ヲ極メ多額ノ配當ヲ為シ得タル所以ノモノ  
モ究竟初メヨリ織布ノ目的ニ適合セル紡績器械ヲ据付ケ原  
料ヲモ精選シタルニ職

因セスバ非ス然リ而シテ近時紡績業者間ニ於ケル一般ノ風

【二回ノ二 10 a】

潮ハ紡績器械ヲ増設セハ須ラク瓦斯其他ノ細糸タルヘシ否  
ナ細糸紡績ヨリモ寧ロ織布事業ニ着手スヘシト云フカ如キ  
傾ヲ示シツ、アリ現ニ下野棉布会社、東京紡績等ノ如キモ  
織布ノ設計ヲ申込来リ其他関西ノ各紡績モ早晚織布時代ニ  
移ルヘキコトヲ予想セルモノ、如何レモ如何ナル器械カ  
適當ナルヤ「ノースロップ」ハ最新發明ノ織機ナリトコ  
トナルカ果シテ然ルヤ等ノ点ニ付キ速ニ断定ヲ与ヘラレン  
コトヲ翹望シツ、アル姿ナリ故ニ我社ニ於テハ速ニ欧米ニ  
於ケル新器械ヲ調査シ「ノースロップ」ハ如何果シテ今日  
ノ工業經濟ニ適合スルヤ否ヤ將タ又「プラット」ノ織機ハ  
如何等ノコトヲ審案シテ断定ヲ与ヘ紡績会社ヲシテ抛ルヘ  
キノ指針ヲ得セシメサルベカラズ余ハ信ス欧米ヘ技師ヲ派  
遣シ織機ノ調査ヲ為サシムルコトハ焦眉ノ

【二回ノ二 10 b】

急務ナルコトヲ若シ夫レ我社ニシテ機械選定者タルノ名譽  
ヲ荷ハンカ尚ホプラットノ紡機ニ於ケルカ如ク織機ニ於テ  
モ亦唯一ノ供給者トナリ一方ニ於テ紡績業者ヲ満足セシム  
ルト共ニ至大ノ利益ヲ占得スルコト敢テ難キニ非サルナリ  
手織棉布支那輸出ニ就テハ海外支店ト見本ノ授受ヲ為シ大  
ニ研究スル所アリタリ元来手織ハ其品物ノ値段ヨリモ寧ロ  
売込方大切ナリ例ヘハ東京人ハ薩摩飛白、琉球紬等各地ノ

名産ヲ購入シ其価ノ高下ノ如キハ敢テ問フ所ニ非ス要ハ売込ヲ勉ムルト否トニアルノミ台湾ニ於テハ物産会社カ大ニ力ヲ致シタル結果茶木綿ハ当社ノ印ナレハ其印丈ニテ取引出来スル有様ナリ又支那へハ從來木綿縮綿フランネル、綿ブランケット等ノ輸入アリタルカ之ハ日本人カ売り引メタルニ非ス日本ニアル支那人カ本国へ持ち行キテ其売弘ヲ勉メタルモノナリ即

【二回ノ一 11a】

チ木綿縮ハ足利ニ於テ造リ又綿フランネルモ紀州辺ニ於テ西洋品ニ模擬シテ織立テタル処支那人ハ其目新シキヲ見テ之ヲ持ち帰り苦心經營ノ末之カ販路ヲ拡張シタルモノナリ而シテ幸ニモ木綿縮其販路益拡大シ南洋一帶太平洋諸島其他英米ニ迄モ輸出ヲ見ルニ至リ二十七年程度ニ於テ其輸出高百万円以上ニ達シタル処日本工業家ノ通弊ナル粗製濫造ノ結果生地ノ目方ト同量ノ糊ヲ付クルモノアルニ至リ大ニ其声価ヲ損シ輸出額モ頓ニ減少ヲ来セリ又綿フランネルモ各季之ヲ用ユル故甚シキ失態ヲ来サ、ルモ夏季之ヲ用ユレハ直ニ褪色スヘク染方不完全ナル点ハ大ニ信用ヲ落スノ原因トナリ其他ノ手織木綿ノ如キモ亦自ら己ノ頭ヲ刎ネルカ如キ形勢ナリ然ラハ如何ニシテ此弊ヲ救済スヘキカ他ナシ第一ニ信用組合ヲ設立スルニアリ蓋シ此信用組合ハ米國ニ行

ハル、「トラスト」ノ如ク生産超過シテ各自ノ不利益

【二回ノ二 11b】

ヲ醸成スルヲ防クノ主意ニアラス全ク粗製濫造ヲ防キ新販路ヲ拡宏スルノ目的ニアリ今日我國ノ座繰糸ハ一ノ重要貿易品タル所以ノモノハ開明社ノ如キ一種ノ信用組合ヨリ幾十百人ノ手ヨリ挽キ出シタル糸ニ対シ「デニール、フン、光沢等ヲ甄別シ内金ヲ前渡シ其集マリタル同品種ノ糸ヲ荷造シテ出荷スルニ依ルモノニテ若シ這般ノ組合の組織ナクンハ各個人ノ手ニ為リタル座繰品ハ輸出品トシテ今日ノ如キ発達ヲ現ハサ、ルヘシ去レハ手織木綿ニ付テモ亦各地ニ此種ノ信用組合ヲ設ケ同品種ノモノヲ集メテ包装シ一定ノ商標ヲ付シテ輸出ヲ計リ且其値段ノ如キモ新販路ヲ求ムルノ際ナレハ幾分力之ヲ割安ニシ少々ノ損失ヲ忍ハサルヘカラス今夫レ我國ノ木綿縮ハ特有ノ産物ニシテ他國ニ於テ製出セラル、モノアルヲ見ス從テ其輸出額八年々増加スヘキ筈ナルニ去二十七年以來漸次減退ヲ来シ遠カラズシテ枯涸ヲ招カントスルノ状アルハ遺憾

【二回ノ二 12a】

千万ノ至リナリ故ニ信用組合ヲ設ケ第一ニ木綿縮ノ輸出ヲ計リ漸次綿フランネル、綿ブランケット、手拭地等ニ及ホ

サハ我國綿布ノ販路ヲ拡張シ得ヘキヤ豪毛疑ヲ容レヌ然レトモ若シ不幸ニシテ信用組合ノ制度ヲ実施スル能ハスンハ行商ノ手ニ依リテ清國ノ内地ニ売込ムノ策ヲ取ルノ外ナシ試ミニ見ヨ日本ニ於ケル木綿商ノ七八分通りハ江州商人ノ手ニ依リテ成立スルコトヲ彼等ハ初ヨリ天秤棒ヲ肩ニシテ木綿ヲ行商シ以テ今日アルヲ致シタルモノニシテ堀留并長谷川町ニ於ケル有力ナル木綿商人ノ大半ハ江州人ナリ此他九州ニ大阪地方ニ所トシテ江州商人ノ跳梁ヲ極メサルナシ彼等ハ実ニ箱根山ヲ踰ユルノ困難ナリシ時代ヨリ天秤棒ヲ荷担シテ東西ニ奔走シ以テ今日ノ素ヲ為シタルモノナレハ此方法ヲ支那ニ推シ及ホシ続々行商ヲ支那ニ派遣シ本部ヲ上海其他ノ居留地ニ置キ深ク支那内地ニ江州商人的

【二回ノ一 12b】

行商ヲ試ミシメハ既往ニ於テ江州商人カ日本ノ木綿業ニ付テ成效セルカ如ク此支那内地ニ於ケル江州商人的行商モ亦大ニ我日本綿布ノ販路ヲ拡張シ得ヘシト信ス  
従来綿布商売ニ付テハ互ニ見本ヲ交換シ売行見込アルモノヲ取調ヘタルニ止レトモ斯ノ如キ方法ニテハ到底事情ノ疎通ヲ計ル能ハス從テ斯業ノ擴張ヲ望ムヘカラス英人カ最初金巾ヲ日本ヘ売込ムニ当リテヤ我國ノ棉布ハ巾一尺ニシテ長ケニ丈八尺ナルコトヲ知ラスニ尺五寸巾ノ金巾ヲ輸入セ

リ蓋シ其當時ニアリテハ日本ハ綿布ヲ製織スルニ手工ヲ用ユルヲ以テ若シ自國ニ於テ製造スル機械綿布ヲ輸入セハ大ニ其販路ヲ拡張シ得ヘシト信シタリシナラム此断定ハ大体ニ於テ其正鵠ニ中リシヲ以テ二尺五寸巾ノモノニテハ失敗シタレトモ之ヲ三尺巾ニ改メ遂ニ今日一千万円余ノ輸入額ヲ見ルニ

【二回ノ一 13a】

至リタルモノナリ去レハ我商人ニシテ支那内地ニ木綿ヲ売込マントスルニハ先以テ当業者ヲ支那内地ニ派出シ如何ナル綿布カ最モ売行宜布カルヘキヤヲ調査セシメサルベカラズ從來支那内地ニ赴キタルモノハ官吏政治家等ノミニシテ木綿商人カ深ク支那内地ニ入り木綿ノ取調ヲ為シタルコトヲ聞カス斯ル有様ニテハ我綿布輸出業ノ發達ハ企圖シ得ヘカラサレハ向後大ニ視察員ヲ派出シ行商ヲ試マシメサルベカラズ先達來其向ノ商人ニ此意見ヲ吐露シタル処何レモ大賛成ニテ既ニ旅費ヲ調ヘ支那内地行ヲ申込モノ六人ニ上レリ若シ更ニ此事ヲ木綿ノ産地ニ檄セハ数十人ヲ得ル敢テ難キニ非サルベシ斯クテ此種ノ人々カ支那内地巡廻シテ十分取調ヲ尽シ同地方ニ向キ宜シキ綿布ヲ製織シテ我社ニ之カ売捌ヲ委託スルノ日ニ至レハ始メテ我綿布ノ販路ハ大ニ支那内地ニ拡張スルニ至ルヘケム

【二回ノ二 13b】

次ニ何故ニ支那綿布ハ高価ニシテ日本ノ綿布ハ安値ナルヤト云フニ支那人ハ織布ニ拙ニシテ工賃ヲ要スルコト比較的ニ多キカ故ナリ而シテ又江州ノ蚊帳ハ製造粗末ナルモ日本全国ニ其販路ヲ有スル所以ノモノハ江州商人カ之カ売捌方ニ尽力セルノ結果ナリ既ニ日本ノ工女ハ賃銀極メテ低廉ニ且技術モ巧妙ナルニモ拘ハラス日本商人カ江州商人ノ蚊帳ニ於ケルカ如ク綿布ヲ支那ニ売弘ムルコト能ハサルハ遺憾千萬ノ至リナラスヤ故ニ我社ハ一方ニ於テ米國ニ於ケル綿布器械及織布業取調ヘノ為メニ歐米ヘ技師ヲ派遣スルト共ニ一方ニ於テ清國ヘ綿布業視察ノ為メ係員ヲ派遣シ且ツ同一目的ノ当業者ヲ勧誘シテ同行スルコト、シ又一方ニ於テ輸出手織綿布ノ種類ヲ分ツテ信用組合ヲ組織セシメ以テ大ニ斯業ノ擴張ヲ計リ賃銀低廉ナル工女ノ辛苦ニ依リテ織成セラレタル綿布ノ輸出ヲ旺盛ニセサルヘカラス而シテ此信用組合ノコトハ足利地方ノ当業者

【二回ノ二 14a】

ニモ話シタル処何レモ大ニ賛成ノ意ヲ表シ組合ノ成立ニ尽力スヘキ旨ヲ約セリ如此世人カ一般ニ共同一致ノ必要ヲ認めタル折柄ナレハ信用組合ノ組織ニハ最モ好時機ナリト信

ス今若シ幸ニシテ組合ノ成立ヲ見ルトセン乎木綿縮ノ生産額ヲ取調ヘ其内輸出カ何程之アルヘキカヲ取調ヘ其額丈ノ製造方ヲ組合員ニ分配シ之ヨリ製造ヲ増減スルヲ得サラシメ分配數量ノ製造出来シタル上ハ生産費以内ノ値段ヲ以テ之ヲ買入レ通帳ニ記入シテ之ヲ渡シ置キ進テ其物品売上ノ後前貸金ヲ差引キ其残額ヲ配分ス斯ノ如クセハ恰モ自ラ其製品ヲ海外ニ送り且ツ自ラ之ヲ売却スルト同一ノ結果トナリ共同ノ利益ヲ計ルニ於テ最モ便利ナル方法ナリ而シテ此信用組合ヲ組織スルニハ木綿縮ノ広巾物ノ産額ヲ約三百八十万円ト見之カ買入資金トシテ其買上品ヲ担保トシ約五十万円ヲ下ラサル金額ヲ組合ニ貸渡サ、ルヘカラズ然ラサレハ到底此組合ヲ持続

【二回ノ二 14b】

セシムルコト能ハサルベシ此事ニ就テハ尚別ニ社長ニ請願スヘキ筈ナリ  
当社ノ取扱品ハ台湾并支那ニ輸出スルモノ多数ナルカ其大半ハ既ニ他人カ輸出シ居リタルモノナリ当社ニテハ新規ニ販路ヲ発見シタルハ茶木綿ニシテ台湾地方ヘ大ニ売行クノミナラズ広東地方ヘモ引合フヘキ見込アリ向後此商売ハ益々発達スベシ  
朝鮮ヘハ従来日本商人カ多数入り込ミ至ル所ニ日本市街存

立スルノ有様ナレハ手織木綿ノ輸入モ從テ多ク金高約百万円以上ニ達セリ主ニ三河大阪及九州地方ヨリ尺巾ノ白木綿カ入り来リ居レリ此他器械綿布輸入モ尠ナカラス向後益輸入ヲ増加スヘケレハ我々ハ大ニ力ヲ朝鮮地方ニ延ハサ、ルベカラス殊ニ支那綿布ヲ使用スルト日本綿布ヲ使用スルトノ利害得失ハ瞭々火ヲ觀ルヨリモ明カナルモノナレハ支那綿布ハ日本綿布ノ為メ朝鮮市場ヨリ驅逐セラルベシ故ニ我社ニ於テハ第一着歩トシテ朝鮮ノ要港ヘ

【二回ノ二 15 a】

引合店ヲ設クルコト、致シタシ就中元山津ヘノ輸入ハ朝鮮全体ノ輸入額ノ五割以上ヲ占ムル趣ナレハ同地ヘハ是非共引合店ヲ設ケタシ

◎益田 綿布首部ヨリモ只今藤野氏ノ述ヘラレタル所ト同一ノ議案提出セラレ居レリ即チ

第一号 織布器械及織布業取調ノ為メ欧米ヘ技師ヲ派遣スルノ件

織布器械取調ノ為メニ此度呉服店ヨリ高辻技師ヲ欧米ニ派遣スルコトナリタルヲ以テ目的ヲ達シ得ヘキノミナラス既ニ倫敦紐育両店、申送り取調ヲ為サシメ其報告書ヲ入手セリ故ニ当業者ニ対シ説明ヲ与フルコトニハ差支ナシ  
第二号 清国ヘ綿布業視察ノ為メ係員ヲ派遣スルコト且同

一目的ノ当業者ノ同行ヲ各店ニテ勧誘スル事  
之ハ綿布商売関係アル店カ時々申合セテ係員ヲ派遣スルコトニ致シ

【二回ノ二 15 b】

其時ニ經伺スレハ可ナリ別段茲ニ評議ヲ要スル程ノコトナシ

第三号 朝鮮要港ヘ木綿商売ノ引合店ヲ定ムル事

仁川ニ既ニ大阪支店ノ出張員アリ又元山津ヘ出張員ヲ派出スルノ要否ハ別ニ「清国、朝鮮、南洋各地方ニ出張員ヲ常置スルノ必要得失及其場所」テフ議案アルヲ以テ其際之ヲ評議スベシ

第四号 輸出手織木綿ノ種類ヲ分ケテ各種信用同盟組合ヲ設立スルコトヲ各店ニテ勧誘スル事

此事ハ深ク研究ヲ要ス

第五号 器械織綿布ノ買持売越額ヲ尚五百俵増加スル事

此事ハ別ニ本会ニ於テ評議スルノ要ナシ

◎寺島 名古屋ニテハ大高ノ産出アルモ一萬二萬反ノ大数ヲ集ムルコトハ困難ナリ故ニ信用同盟ニ組合ヲ設クルカ又ハ同シ種類ノ織布ヲ業トスル者

【二回ノ二 16 a】

ヲ少シツ、集メ其団体ニ於テハ同一ノ品質ノモノヲ織出ス様ニ為サシムルカ何ントカノ手引ヲ為サ、ルヘカラス或ハ又有力家ニ資金ヲ出サシメ手織木綿工場ヲ設立スルモ一策ナル可キカ要スルニ如何ナル方法ナルトヲ問ハス容易ニ同品質ノ品物ノ集マル工夫ヲ為スコト肝要ナルベシ尤モ今日總テノ綿布業者ノ合同シテ一大信用同盟組合ヲ組織セシムルコトハ容易ニ成就スヘクモアラサルモ小部分ツ、ヲ集合セシムルコトハ強テ困難ニ非ルベシ現ニ綿毛布業者ノ同盟ハ既ニ出来セリ是レ蓋シ該業ニ従事スルモノハ何レモ名古屋市中ニ集合シ居レルカ故其團結モ容易ナリシモノナラム向後ハ一定ノ品物ヲ製出シ其売捌方ヲ当社ニ托スルコト、ナルベシト考フ

◎**福井** 余ハ足利ノ木綿縮紀州ノ綿フランネル東京近傍ノ茶木綿ト云フカ如ク其地方々々ニ依リ一ツツ、合同セシメンコトヲ希望ス其以上ノ大合同ハ素ヨリ別論ナリ

【二回ノ二 16 b】

今仮リニ足利ノ木綿縮ノ合同ヲ計ルトスレハ第一着ニ資金貸与ノ必要ヲ感シ来ル

◎**益田** 内地売ト外国売トヲ問ハス貸金ヲ為サ、ルヘカラサルカ

◎**藤野** 支那地方へ既ニ木綿縮ノ輸出アルモ濠洲地方ノ如キ

新規ノ地方へ引合ヲ為スニハ勢ヒ損失ヲ恐レス可成値段ヲ低クセサルヘカラス此損失ハ内地売ノ分ニ負担セシメサレハ到底新販路ノ開拓ヲ為スコト能ハサルヲ以テ内地売ト外国売トヲ問ハス信用組合ハ前貸ヲ為サ、ルベカラズ

◎**福井** 内地売ニモ手ヲ着クベキヤ否ヤニ付研究シタルニ足利ノ産出品中九割ヲ内地向ニシテ外国向ハ一割ニ過キス故ニ内地売テモ我手ニ押ヘサレハ外国輸出ヲ十分發達セシムルコト能ハス

◎**益田** 果シテ然ラハ内地売迄当社ニ取扱フコト能ハス呉服店ヲシテ取扱ハシムルノ外ナシ

【二回ノ二 17 a】

◎**飯田** 内地ノ製品ハ従来ノ経験ニ徴スレハ品質揃ハサルノミナラス期限往々延滞スルコトアリ且原料タル糸ノ相場騰貴スルトキハ辞柄ヲ設ケテ品質ヲ落シ若クハ破約スルコト珍シカラズ之ヲ防ク為メ組合法ヲ設クルコトハ至極可ナルカ如ク思ハルレトモ是迄此点ニ付深く取調ヘタル所ナキヲ以テ是非ノ意見ヲ述ヘ難シ尚篤ト取調フルコト、スベシ

◎**寺島** 只今内地売ノコトニ付御話アリタルカ仮合同盟組合成立後ト雖トモ品質常ニ良好ナルニ限ラス時々検査ノ結果不合格品ヲ生スルコトアルベシ此場合ニハ之ヲ内地ニ二売払

フノ外ナカルベシ

◎益田 外国輸出ノ目的ヲ以テ造リタルモ品質不良等ノ為メ  
別ネタル分ハ内地売ト為スコト実ニ已ムヲ得サルニ出ツル  
モ内地売ノ目的ヲ以テ造リタルモノヲ引受ケ販売スルカ如  
キハ断シテ不可ナリ三井ニ於テハ既ニ呉服店ヨリ内地売ノ  
取扱ヲ為セルニ拘ハラス物産会社カ均シク同地売ノ取扱ヲ

為スカ如キハ不都合此上ナシ

【二回ノ二 17 b】

◎藤野 足利ノ三井銀行ニ於テ融通ヲ与ヘツ、アル商品ノ重  
ナルモノハ即チ木綿縮ナリトノコトナリ又以テ如何ニ同地  
方ニ於ケル木綿縮ノ織立テカ盛ンナルカヲトスルニ足ル

◎益田 信用組合ヲ設ケシメ内地売ハ呉服店之ヲ引受ケ海外  
売ハ当社之ヲ引受クルコト、セハ随分面白カルヘキ歟

◎飯田 此他綿布ノ小問題アレトモ月末清国各店ノ綿糸取扱  
者ヲ大阪支店ヘ集メ協議会ヲ開ク考ナレハ其時ヘ譲ルコ  
ト、シテハ如何

◎益田 夫レニテ可ナリ此他輸出品ニ付何か見込アルモノナ  
キヤ

◎寺島 麦稗真田并花筵ハ如何

◎飯田 麦稗真田并花筵ハ漸次支那ノ製品ニ庄倒セラレント  
スルノ傾キアレハ当社ニ於テ骨ヲ折ル丈ノ価値アルヤ否ヤ

疑ハシ

◎益田 若シ紐育支店ニ於テ手カ廻ハルナレハ取扱ヒ見度モ  
ノナリ

【二回ノ二 18 a】

◎呉 資力アルモノカ力ヲ副ユルトキハ日本ノ製造高ハ増加  
スベシ

◎益田 岡山地方ニテ藺ヲ作ルトキハ肥料ヲ要スルコト多キ  
モ而モ一反歩ニ付二百円ノ收穫アリ寒中田地ヲ踏ミ蒔付ヲ  
為シ米ヲ植エルニハ少シク後レル位ノ時期ニ刈入ヲ為ス而  
シテ其跡ニ米ヲ種ユレハ四俵ノモノ三俵ニ減スルモ尚收穫  
アリト云フ故ニ藺ノ耕作ハ農家ニ取り極メテ利益ニシテ藺  
筵ノ販路擴張スルコトハ彼等ニ取り非常ノ仕合ナリ九州地  
方ニ於テモ亦之ヲ耕作スル次第ナル故先年紐育ノ岩原支  
店長婦朝ノ節本品ノ取扱ヲ始ムルヤ如何ト問ヒタル所当時  
生糸ノミニテモ困難アル商売ニテ其上器械棉花等ノ商売モ  
アリ手廻ハリ兼ヌル旨ヲ以テ取扱ヲ辞シタルニ依リ其儘ニ  
打過キタリ

◎呉 輸出貿易拡張ノ事ハ当社ノ大方針ナレハ仮令紐育支店  
ノ人員

【二回ノ二 18 b】

ヲ増加シテモ此商売ヲ開始スルコトニシテハ如何聞ク所ニ依レハ蘭ハ支那ノ方可ナルモ柄ハ日本ノ方可ナリ而シテ之ハ長ク用ユルモノニアラサル故模様奇麗ニシテ価廉ナル方売行宜シカルベシト云フ

◎益田 手廻リ兼ヌルニモ拘ハラヌ強テ其取扱ヲ始ムルトキハ却テ在来ノ商売ヲモ退歩セシムルノ恐レアリ何レ紐育ヘハ羽二重商売ノ為メ人ヲ増加スヘキコト、ナルヘキヲ以テ其上ニテ花筵ノ取扱モ出来レハ始ムルコト、スベシ

◎福井 兎毛角取調ノ上着手スヘキ品物ノ中ニ入レ置クコトニ致シタシ

◎寺島 花筵ハ桑港ニテハ如何

◎小田垣 桑港ニテハ売行ナク南方テキサス地方ヘ送ラサルベカラズ且本品売込ニ付テハ常ニ売手ヲ廻ラセルコト必要ナルノミナラズ其税金モ一ヤードノ目ノ数ニ依リ異ナリ取扱方中々面倒ナリ

◎益田 輸出スヘキ品物ニ付テハ尚種々アルヘキモ姑ク茲ニ論及スルコトヲ止メ

【二回ノ二 19 a】  
輸出商売拡張ノ大方針定リタルニ付テハ特ニ輸出部ナルモノヲ設クルカ將タ又東京、大阪、ノ雜貨掛中ニ輸出ニ専従スル掛ヲ置クカニ付御意見ヲ承リタシ蓋シ是迄ハ雜貨掛中

ニ於テ輸出入双方ヲ取扱ヒタルモ斯ノ如ク輸出入ノ一掛ニ屬セシメ置クトキハ勢取扱方困難ナル輸出ノ方等閑ニ流レサルカ如何別シテ大阪神戸并東京ノ意見ヲ承リタシ

◎飯田 余ハ今日輸出部ナルモノヲ設ケ特ニ一部ノ仕事トシテ輸出ニ力ヲ入レルコトニセハ素ヨリ十分仕事モ発達スヘシト考フルモ若シ斯ク如クセハ其種類非常ニ繁雜ニ渉ルベシ現ニ今日ニアリテモ紙綿布其他諸種ノ雜貨アリ又綿布ノ如キハ綿花部ノ統轄ニ屬シ生糸ハ横浜米ハ兵庫ノ取掌ニ屬スト云フカ如ク商売々々ニ依リテ重モナルモノハ部力分レ居ル故今日此等ヲ併合シテ輸出部ヲ設ケンヨリモ寧ろ各店

【二回ノ二 19 b】  
ニ輸出掛ヲ設クル方便宜ナラン歟大阪支店ニ於テハ雜貨掛ヲ輸出輸入ノ両掛ニ分課セシカトモ考ヘタルコトアレトモ輸出雜貨ノ商売ハ多クハ多少損失ヲ醸スカ又ハ損失ナキモ利益ヲ得ルコト未タ難出来モノ多数ナレハ之カ取扱ヲ為ス者ノ身ニ取リテハ何程奔走スルモ利益挙ラストアリテハ大二張合ナク又他掛ヨリモ同一ノ感ヲ抱カレ不知不識精神ノ粗喪ヲ来ス事ナシトセス依テ品物ニ依リテ掛ヲ分チ燐寸ト金物ヲ組合ハス等可成取扱者ノ力ノ落ちサル様工夫シテ只今実行シ居レリ何レ往ク々々輸出ト輸入トヲ分チ又輸出中ニ在リテモ其種類ニ依リ掛ヲ分ツヘキ時来ルヘキモ今日ハ

未タ輸出部ヲ特設スルノ必要ニ迫ラスト考フ

◎**呉** 輸出ヲ盛ナラシムルニハ之カ売捌ニ当ル海外店ノ力ニ俟タサルヘカラズ而シテ輸出部ヲ設ケテ各店ニ刺衝ヲ与ヘ時ニハ東洋并欧米各店ヘ

【二回ノ一 20 a】

モ輸出部ヨリ人ヲ派出シ輸出品売捌ノ状況ヲ視察督励セシムルコト、セハ大ニ効果ヲ奏スルナルベシ

或ハ輸出ヲ別掛トスルコトハ困難ナリトノ説モアランカ余ハ困難ナル丈夫丈ケ担当者ノ技倆ヲ奮フヘキ余地アル次第故何人モ喜ンテ此難局ニ当ランコトヲ望ムヘシト考フ

◎**益田** 本部参事中ニ輸出ヲ督励スル掛ヲ置キ社長ノ目代トナリテ其督励ニ従フコト、スルノ案ハ至極面白シト考フ

◎**上田** 一ノ検非違使ナリ至極宜シカラム

◎**小田垣** 輸出部ヲ作レハ輸出掛ヲ廃スルカ又輸出掛ヲ設クレハ輸出部ヲ廃スルカ何レカ一途ニ定メサルベカラス然ラサレハ海外等ヨリ書状ノ往復ヲ双方ヘ為スベキコト、ナリ氣脈ノ疎通ヲ欠クコトナシトセス

◎**呉** 輸出部ハ輸出ノ督励ニ当ルノミニテ自ラ商売ヲ為スニハ非ス

【二回ノ一 20 b】

故ニ斯ル心配ナシ

◎**臼井** 参事中ニ勸商掛ナルモノアリ之ヲシテ輸出督励ノ事ヲ取扱ハシムレハ可ナラン

◎**益田** 特ニ輸出督励掛ヲ置ク方宜シカルベシ

◎**福井** 燐寸又ハ銅等ノ如キ在来ノ商売ニ尽力スルコトハ輸出部ノ督励ナキモ各店之ヲ能クスベシ然レトモ羽二重ノ商売ヲ始ムルトカ又ハ花筵ノ商売ヲ始ムルト云フカ如キ新商務ハ之ヲ各店ノ成行ニ放任スルヲ得ス故ニ輸出部自ラ之カ開始ニ当ルコト、シテハ如何

◎**益田** 輸出督励掛ヲ設ケ諸方ヘ出張シテ輸出商売ノ督励ヲ計ルモノトセハ専門ニ此事ニ従事セシムヘク他ノ商売ヲ兼担セシムルヲ得サルベシ

◎**飯田** 銅ノ商売ヲ為スモノニ鉛又ハ錫ノ引合ヲモ為サシムルトキハ取引先

【二回ノ一 21 a】

同一ニテ太甚便利ナリ然ルニ銅ハ輸出ニシテ鉛并ニ錫ハ輸入ナレハ之ヲ同一ノ掛ニ取扱ハシムルヲ得ストナレハ人手ノ少キ店ニアリテハ太甚不便ナリ殊ニ如此掛ヲ小区分スルトキハ一方ニ於テハ用事ニ忙殺サレ居ルニ一方ハ用事ナキ為メ遊ヒ居ルト云フカ如キ結果ヲ来スベシ

◎**益田** スタツツヲ融通セシムレハ可ナラム

◎福井 米國貿易商会ハ輸出部ヲ分課シ居レリ

◎呉 外国商館ハ大抵皆然リ

◎飯田 銅ハ一ヶ月二三回ノ引合アルノミ然ルニ棉糸モ銅モ  
刷子モ皆一ノ輸出掛ニ屬セシムルトセハ銅ノ引合アル毎ニ  
遽ニ相場ヲ聞キ廻ハラサルヘカラス若シ之ヲ鉛錫等ノ同一  
ノ掛ニ屬セシメ置クトキハ金物ノ掛員ハ常ニ銅ノ相場ニモ  
注意シ居ル故ニ大ニ便利ナリ

◎福井 夫レハ銅ノ商売閑ナルカ為メナリ若シ銅掛ヲ置クト  
仮定スレハ唯

【二回ノ二 21 b】

茫然ト注文ノ来ルヲ待ツ訳ニ行カサル故自然東奔西走其商  
売ノ拡張ヲ計リ其結果大ニ該商売ノ發達ヲ見ルヘキヤモ知  
ルベカラス東京營業部ニ於テハ金物ノ取扱ヲ分ツテ二トシ  
鉄ノ掛ヲ特設セリ其結果鉄掛ノモノハ諸方ヲ廻リテ鉄ノ事  
ヲ聞取り来リ為メニ鉄商売ノ助長ニ資スルコト尠少ニアラ  
ス若シ之ヲ分設セサラン乎斯ク迄ノ發達ハ見サルベシ

◎飯田 鉄ト他ノ金物トハ大ニ趣キヲ異ニセリ加之相当ノ商  
売高ニ達シタルモノハ其掛ヲ分設スルモ差支ナキモ未タ商  
売高ノ極メテ小ナルモノヲ分課スルカ如キハ其可ヲ見ス

◎益田 大阪ノ輸出品ハ如何ナルモノナルヤ

◎飯田 燐寸棉布（棉糸ハ棉花部ニ屬ス）硫酸、銅、鉄、ラ

ムネ瓶、其他種々ナリ

【二回ノ二 22 a】

◎益田 輸出掛ヲ區別シテ輸出雜貨ノ取扱ヲ為サシムルコ  
ト、シ而シテ銅ノ如キ会々取引アルニ止ルモノハ他ノ掛ヲ  
シテ取扱ハシムルモ可ナリ

◎呉 特ニ輸出掛ヲ設ケラル、トキハ一ヶ年ノ後ニハ必スヤ  
余程ノ進歩ヲ見ルナラム

◎益田 輸出雜貨掛テフ名義ヲ用ヒ綿布ハ從來ノ通り棉布掛  
又綿糸ハ棉花掛ノ所掌ニ屬セシメ置キテ差支ナシ

◎福井 輸出ノ商売ハ日本ニテ買ヒタルモノヲ外国ニテ売捌  
クモノナレハ日本ニテ仕入方注意スヘキハ勿論外國ニテハ  
大ニ其売り方ニ勉メ貫ハサルベカラス若シ売子不足ナレハ  
本店ヨリ人ノ差廻ハシヲ得ルコト、シ十分売方ニ尽力セラ  
レンコトヲ望マサルヲ得ス又内地ニ於テモ仕入方ハ極メテ  
困難ナルモノナレトモ十分力ヲ致スベキハ論ヲ俟タズ

◎益田 先方ヨリ謂ヘハ日本ニテ仕入方高キ故売捌キ困難ナ  
リトノ苦情

【二回ノ二 22 b】

モアルベシ兎毛角内地ニテハ安値ニ仕入レ又海外ニテハ販  
路ヲ見出し輸出商売ノ發達ヲ期セサルベカラス

之ヲ要スルニ会社ノ大方針タル輸出貿易ヲ拡張スルニ付テハ費用ヲ吝マス取調員ヲ海外ニ派遣スルコトモ為スヘク又輸出督励掛ヲ設ケテ各店ニ刺激ヲ与ヘシムルコトモアルベシ各店ニ於テ輸出ノ商売ニ当ル人々ハ其方針ヲ以テ進ムコト、承知セラルヘク又販売店ニアル人々モ其趣旨ヲ詳悉シテ十分販売方ニ努力セラレタシ

〔第二回了〕

